

2010（平成22）年度「大学評価」申請用
大学基礎データ

千葉科学大学

大学基礎データ作成上の注意事項

- 1 「大学基礎データ」は、原則として「大学評価」申請**前年度**の5月1日現在のデータで作成してください。ただし、各表の注において作成年に関する指示がある場合は、その指示に従って作成してください。
本様式は、2010（平成22）年度申請用に作成していますので、特に注記がない場合、2009（平成21）年5月1日が作成標準日となります。
- 2 「大学基礎データ」は、A4判で作成してください。全体に通しページを付し、目次を作成してください。
- 3 表紙には、申請年度と大学名を明記してください。
- 4 専任教員に関するデータの作表にあたっては、「IV 教員組織 1 全学の教員組織（表19）」を基本とし、同表に専任として記載した学部、大学院研究科等ごとにその後の表を作成してください。
- 5 「IV 教員組織 2 専任教員個別表（表20）」が大部になる場合は、「大学基礎データ」と別冊にしても結構です。
- 6 「専任教員の教育・研究業績」については大学・学部等の固有の業績一覧の提出を原則とします。大学で固有の業績一覧を作成していない場合は、本「大学基礎データ（様式）」の（表24）および（表25）を参考に作表してください。また、この業績一覧は、「大学基礎データ」とは別冊にしてください。
- 7 各表に記入する数値について小数点以下の端数が出る場合、特に指示のない限り小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示してください。
- 8 該当しない表がある場合は、その表のタイトルと表番号のみを記入し、「該当なし」と注記してください。なお、作成しない表があっても各表の右上に付された表番号は変更しないでください。
- 9 【例】 「7 国家試験合格率（表9）」
該当なし
- 9 各表において、記入すべき数値が無い場合は、空欄とせず、「-」（ハイフン）を記入してください。
- 10 各表に付されている脚注は消去しないでください。

なお、本「大学基礎データ」（様式）は、大学基準協会のホームページ（<http://www.juaa.or.jp>）から入手できます。

目 次

	項
I 教育研究組織	
1 (表1) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2009年5月1日現在)	1
2 (表2) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2010年4月1日現在)	2
II 教育内容・方法等	
1 (表3) 開設授業科目における専兼任比率	3
2 (表4) 単位互換協定に基づく単位認定の状況	5
3 (表5) 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況	6
4 (表6) 卒業判定	7
5 (表7) 大学院における学位授与状況	8
6 (表8) 就職・大学院進学状況	9
7 (表9) 国家試験合格率	10
8 (表10) 公開講座の開設状況	11
9 (表11) 学生の国別国際交流	12
10 (表12) 教員・研究者の国際学術研究交流	13
III 学生の受け入れ	
1 (表13) 学部・学科の志願者・合格者・入学者の推移	14
2 (表14) 学部・学科の学生定員及び在籍学生数	23
3 (表15) 学部の入学者の構成	24
4 (表17) 学部・学科の退学者数	25
5 (表18) 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数	26
6 (表18-2) 法科大学院の学生定員及び在籍学生数 (該当なし)	27
7 (表18-3) 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移	28
8 (表18-4) 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移 (該当なし)	30
IV 教員組織	
1-1 (表19) 全学の教員組織	31
(教育組織と教員組織が異なる場合の記入例)	
1-2 (表19-2) 学部の教員組織	32
1-3 (表19-3) 大学院研究科の教員組織 (専門職大学院を除く)	33
1-4 (表19-4) 専門職大学院の教員組織 (該当なし)	34
1-5 (表19-5) 事務組織	35
2 (表20) 専任教員個別表	36
3 (表21) 専任教員年齢構成	82
4 (表22) 専任教員の担当授業時間	84
5 (表23) 専任教員の給与	86

V 研究環境			
1	(表24) 専任教員の教育・研究業績		— (別冊)
2	(表25) 専任教員の教育・研究業績	(芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員)	— (別冊)
3	(表29) 専任教員の研究費 (実績)		87
4	(表30) 専任教員の研究旅費		88
5	(表31) 学内共同研究費		89
6	(表32) 教員研究費内訳		90
7	(表33) 科学研究費の採択状況		92
8	(表34) 学外からの研究費の総額と一人当たりの額		93
9	(表35) 教員研究室		94
VI 施設・設備等			
1	(表36) 校地、校舎、講義室・演習室等の面積		95
2	(表36-2) 主要施設の概況		96
3	(表37) 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模		98
4	(表38) 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模		99
5	(表40) 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表		100
VII 図書・電子媒体			
1	(表41) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況		102
2	(表42) 図書館利用状況		103
3	(表43) 学生閲覧室等		104
VIII 学生生活			
1	(表44) 奨学金給付・貸与状況		105
2	(表45) 学生相談室利用状況		106
IX 財務 (私立大学のみ)			
1-1	(表46) 消費収支計算書関係比率 (法人全体のもの)		107
1-2	(表46-2) 消費収支計算書関係比率 (大学単独のもの)		108
2	(表47) 貸借対照表関係比率		109
X 情報公開・説明責任			
1	(表48) 財政公開状況 (私立大学のみ)		110
2	(表48-2) 財政公開状況 (公立大学法人のみ) (該当なし)		112

I 教育研究組織

1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2009年5月1日現在）

(表1)

名 称	開設年月日	所在地	備 考
薬学部 薬学科 (6年制)	平成18年4月1日	千葉県銚子市潮見町3番地	届出 (6年制移行のため)
		千葉県銚子市潮見町15-8	
薬学部 薬科学科	平成18年4月1日	千葉県銚子市潮見町3番地	届出
		千葉県銚子市潮見町15-8	
薬学部 動物生命薬科学科	平成20年4月1日	千葉県銚子市潮見町3番地	届出
		千葉県銚子市潮見町15-8	
危機管理学部 危機管理システム学科	平成16年4月1日	千葉県銚子市潮見町3番地	
		千葉県銚子市潮見町15-8	
危機管理学部 動物・環境システム学科	平成21年4月1日	千葉県銚子市潮見町3番地	届出
		千葉県銚子市潮見町15-8	
危機管理学部 医療危機管理学科	平成21年4月1日	千葉県銚子市潮見町3番地	届出
		千葉県銚子市潮見町15-8	
危機管理学部 防災システム学科	平成16年4月1日	千葉県銚子市潮見町3番地	
		千葉県銚子市潮見町15-8	
危機管理学部 環境安全システム学科	平成16年4月1日	千葉県銚子市潮見町3番地	
		千葉県銚子市潮見町15-8	
薬学研究科薬科学専攻 (修士課程)	平成20年4月1日	千葉県銚子市潮見町3番地	
		千葉県銚子市潮見町15-8	
危機管理学部 危機管理学専攻 (修士課程)	平成20年4月1日	千葉県銚子市潮見町3番地	
		千葉県銚子市潮見町15-8	

[注] 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載してください。

2 当該学部、研究科の開設が届出による場合は、備考欄にその旨記載してください。

3 当該研究科もしくは専攻が専門職大学院である場合は、備考欄にその旨記載してください。

4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、学部にならい記載してください。

5 通信教育課程、専攻科、別科等があれば、これも記載してください。

2 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2010年4月1日現在)

(表2)

学部、大学院研究科等	学科、専攻の名称	収容定員(名)	所在地	備考
薬学部	(薬学科(4年制))	—	千葉県銚子市潮見町3番地	6年制移行ため募集停止
薬学部	薬学科(6年制)※1	785	同上	2006年4月受け入れ開始
薬学部	(薬科学科)※2	130	同上	2006年4月受け入れ開始 2010年4月募集停止
薬学部	(動物生命薬科学科)※1	80	同上	2008年4月受け入れ開始 2010年4月募集停止
薬学部	生命薬科学科※1	50	同上	2010年4月受け入れ開始
危機管理学部	危機管理システム学科	345	同上	
危機管理学部	動物・環境システム学科※1	120	同上	2009年4月受け入れ開始
危機管理学部	医療危機管理学科※1	180	同上	2009年4月受け入れ開始
危機管理学部	航空・輸送安全学科※1	40	同上	2010年4月受け入れ開始
危機管理学部	(防災システム学科)	130	同上	2009年4月募集停止
危機管理学部	(環境安全システム学科)	170	同上	2009年4月募集停止
薬科学研究科	薬科学専攻修士課程※2	20	同上	2008年4月受け入れ開始
危機管理学研究科	危機管理学専攻修士課程※2	10	同上	2008年4月受け入れ開始
薬科学研究科	薬科学専攻博士課程(後期)※1	5	同上	2010年4月受け入れ開始
危機管理学研究科	危機管理学専攻博士課程(後期)※1	3	同上	2010年4月受け入れ開始
		2,068		

- [注] 1 申請年(2010年)4月1日付で設置している学部・学科、研究科・専攻を記入してください(募集停止しているものを含みます)。
 2 通信教育課程があれば、これも記載してください。
 3 申請年度(2010年度)から学生受け入れを開始、名称を変更した学部・学科、研究科・専攻名は、備考欄にその旨を付記してください。
 4 学生募集を停止している学部・学科、研究科・専攻名には、備考欄にその旨を付記してください。
 5 専門職大学院は、該当する研究科・専攻名に、(専門職)と付記してください。
 6 申請年4月時に完成年度に達していない学部・学科、研究科・専攻には(※1)を、申請資格充足年度(完成年度+1年)を経ている学部・学科、研究科・専攻には(※2)を付記し、備考欄に学生受入れ年月を記入してください。
 7 収容定員は、入学定員を変更している場合、編入学を実施している場合、完成年度に達していない場合、学生募集を停止している場合など、「現在の入学定員×標準修業年限」では算出できませんので注意してください。
 8 現在、文部科学省に設置申請中の学部・学科、大学院研究科・専攻・課程(修士・博士)がある場合は、記載してください。

II 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率

(表 3)

学部・学科	専攻科目	専任担当科目数 (A)	必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
薬学部	薬学科	専攻科目	86	—	172
		兼任担当科目数 (B)	9	—	20
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	90.5	—	89.6
薬学部	薬科学科	専攻科目	91	—	178
		兼任担当科目数 (B)	14	—	29
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	86.7	—	86.0
薬学部	動物生命薬科学科	専攻科目	49	—	91
		兼任担当科目数 (B)	14	—	27
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	77.8	—	77.1
危機管理学部	危機管理システム学科	専攻科目	44	—	138
		兼任担当科目数 (B)	5	—	43
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	89.8	—	76.2
危機管理学部	動物・環境システム学科	専攻科目	15	—	30
		兼任担当科目数 (B)	3	—	8
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	83.3	—	78.9
危機管理学部	医療危機管理学科	専攻科目	20	—	40
		兼任担当科目数 (B)	3	—	7
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	87.0	—	85.1

学部・学科			必修科目	選択必修科目	全開設授業科目	
危機管理学部	防災システム学科	専攻科目	専任担当科目数 (A)	29	—	109
			兼任担当科目数 (B)	3	—	20
		専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	90.6	—	—	84.5
	環境安全システム学科	専攻科目	専任担当科目数 (A)	41	—	—
		兼任担当科目数 (B)	2	—	—	35
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	95.3	—	79.2
学部共通 専攻科目			専任担当科目数 (A)	21	—	31
			兼任担当科目数 (B)	2	—	3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	91.3	—	91.2
学部共通 一般基礎科目			専任担当科目数 (A)	6	—	28
			兼任担当科目数 (B)	22	—	45
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	21.4	—	38.4

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここにいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めてください。
- 3 カリキュラムを改定した場合は、改定前・後、それぞれ分けて作表してください。
- 4 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付けてください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 5 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 6 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。
- 7 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
- ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 8 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください。
- (例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります)

2 単位互換協定に基づく単位認定の状況

(表4)

学部・学科	認定者数 (A)	他大学		短期大学		1人当たり 平均認定 単位数 (B+C)/A
		認定単位数 専攻科目	認定単位数 専攻以外	認定単位数 専攻科目	認定単位数 専攻以外	
薬学部	薬学科	2	—	3	—	1.5
	薬科学科	2	—	5	—	2.5
	動物生命薬科学科	—	—	—	—	—
計	4	—	8	—	—	2.0
危機管理学部	防災システム学科	19	36	4	—	2.1
	環境安全システム学科	14	—	27	—	1.9
	危機管理システム学科	11	—	21	—	1.9
計	44	36	52	—	—	2.0
合計	48	36	60	—	—	2.0

[注] 1 他大学または短期大学との単位互換協定に基づき単位認定を行っているものを記載してください。
 2 2008年度の実績を記入してください。

3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況

(表5)

学部・学科	認定者数 (A)	大学・短大・高等専 認定単位数 (B)		その他		1人当たり平均 認定単位数 (B+C)/A
		認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
		専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
薬学部	4	16	25	-	-	10.3
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
計	4	16	25	-	-	10.3
危機管理学部	20	160	-	-	-	8.0
	1	23	8	-	-	31.0
	-	-	-	-	-	-
計	21	183	8	-	-	9.1
合計	25	199	33	-	-	9.3

[注] 1 原則として、大学設置基準第29条及び第30条で規定された「大学以外の教育施設等における学修」と「入学前の既修得単位等の認定」に該当するものを記載してください。
ただし、上記には該当しないもの、単位互換協定以外で学生が国内外の大学において履修した授業科目の単位を自大学の単位として認定している場合は、本表の「大学・短大・高等専」欄に含めてください。

2 「大学・短大・高等専」欄には、大学、短期大学または高等専門学校専攻科における学修を、「その他」欄には、「大学設置基準第29条第1項の規定により、大学が単位を与えることのできる学修を定める件」（平成19年文部科学省告示第146号）に定められた学修を記載してください。

3 2008年度の実績を記入してください。

4 編入学生については、本表に含めないでください。

(表6)

学部・学科	2006年度			2007年度			2008年度		
	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
薬学部	薬学科(4年制)	—	—	244	173	70.9	348	263	75.6
	薬学科(6年制) ※1	—	—	—	—	—	—	—	—
	薬科学科 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—
	動物生命薬科学科 ※3	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	244	173	70.9	348	263	75.6
危機管理学部	防災システム学科	—	—	68	67	98.5	73	72	98.6
	環境安全システム学科	—	—	76	73	96.1	101	101	100.0
	危機管理システム学科	—	—	76	75	98.7	96	94	97.9
	動物・環境システム学科 ※4	—	—	—	—	—	—	—	—
	医療危機管理学科 ※5	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	220	215	97.7	270	267	98.9

※1 薬学科(6年制)は平成18年度より6年制に移行のため、まだ卒業生がいらない。

※2 薬科学科は平成18年度開設のため、まだ卒業生がいらない。

※3 動物生命薬科学科は平成20年度開設のため、まだ卒業生がいらない。

※4、5 動物・環境システム学科、医療危機管理学科は平成21年度開設のため、まだ卒業生がいらない。

[注] 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指します。

5 大学院における学位授与状況

(表7)

研究科・専攻	学位授与者数	2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		備考
		修了者	授与者									
薬科学研究科	修士(前期)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008年4月1日開設
	修士(後期)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2010年4月1日開設
	博士(論文)	/	-	/	-	/	-	/	-	/	-	
	専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
危機管理学専攻	修士(前期)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008年4月1日開設
	修士(後期)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2010年4月1日開設
	博士(論文)	/	-	/	-	/	-	/	-	/	-	
	専門職学位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

[注] 1 「修了予定者」欄には、留年者も含め、当該年度修了予定の在籍学生数を記入してください。

2 当該研究科もしくは専攻、課程が最近開設され、そのために学位授与者がいない場合は、備考欄にその開設年月日を記載してください。

6 就職・大学院進学状況

(表 8)

学部	進路	2006年度	2007年度	2008年度
薬学部	就職	民間企業	139	170
		官公庁	1	2
		教員	1	0
	進学	上記以外	0	0
		自大学院	14	18
		他大学院	14	16
その他	上記以外	0	2	
合計		173	263	
危機管理学部	就職	民間企業	140	172
		官公庁	23	32
		教員	2	3
	進学	上記以外	0	0
		自大学院	10	6
		他大学院	11	12
その他	上記以外	4	11	
合計		215	31	
			215	267

- [注] 1 「その他」欄には、当該学部の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないものすべての数を記入してください。
- 2 専門学校教員、日本語教師、NGO団体、国際機関等への就職については、「就職（上記以外）」の欄に記入してください。
- 3 専門学校への進学は、「進学（上記以外）」欄に記入してください。

7 国家試験合格率

(表9)

学部・学科	国家試験の名称	2007年度			2008年度		
		受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%)	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%)
		薬学部・薬学科	173	135	78.0%	※193	※158
危機管理学部・防災システム学科	31	27	87.1%	26	16	61.5%	
危機管理学部・環境安全システム学科	39	26	66.7%	40	36	90.0%	
危機管理学部・危機管理システム学科	29	8	27.6%	30	18	60.0%	

※ 2008年3月卒業者

[注] 1 たとえば「医師国家試験」「薬剤師国家試験」「管理栄養士国家試験」などのように、当該学部・学科等の教育と関連の深い国家試験について記載してください。

8 公開講座の開設状況

(表10)

大学 研究	学部 科	年間開設講座数(A)			募集人員(延べ数)			参加者(延べ数)(B)			1講座当たりの 平均受講者数 B/A			備考
		2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	
		1	0	1	1	※1	0	※1	※2	0	40※3	※2	0	
計		1	0	1	※1	0	※1	※2	0	40※3	※2	0	40※3	

※1 募集人員は定めていない。

※2 記録はとれていない。

※3 薬剤師の人数を表す。

[注] 1 ここである公開講座とは、大学が社会人などを対象に開講する授業や、授業に匹敵する内容の講座です。
2 シンポジウム、講演会は含まないでください。

9 学生の国別国際交流

(表11)

国名	アメリカ合衆国		中華人民共和国		カナダ		韓国		その他		合計	
	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ
学部・研究科												
薬学部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
危機管理学部	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1

- [注] 1 交流協定を締結している海外の大学との状況を中心に、主だった5カ国とその他に分けて記載してください。
 2 学部・大学院研究科ごとに、国別に派遣・受け入れ学生数を記入してください。
 3 2009年5月1日現在で、6か月以上の期間を要する学生数とします。

(表12)

学部・研究科等	派遣												受け入れ					
	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度			
	短期	長期																
薬学部	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
危機管理学部	新規	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	新規	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

[注] 1 派遣、受け入れとも1年未満のものを「短期」とし、それ以上を「長期」としてください。

2 各派遣者及び受け入れ者について、派遣及び受け入れが複数年度にわたる場合、初年度については「新規」欄に、次年度以降は「継続」欄に人数を記入してください。

3 旅費・滞在費等の経費負担が私費によるものも含め、全ての派遣者及び受け入れ者について記入してください。

III 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13)

	入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)	
薬	一般入試	志願者	1,754	811	445	347	271	
		合格者	373	182	358	304	240	
		入学者(A)	154	58	80	59	53	
		入学定員(B)	130	78	115	86	75	
		A/B*100	118.5	74.4	69.6	68.6	70.7	
	A O入試	志願者	130	59	86	54	41	
		合格者	49	20	84	54	41	
		入学者(A)	48	18	80	51	38	
		入学定員(B)	20	12	20	34	24	
		A/B*100	240.0	150.0	400.0	150.0	158.3	
学	指定校推薦※	志願者	19	11	17	17	10	
		合格者	19	11	17	17	10	
		入学者(A)	19	11	17	17	10	
		入学定員(B)	0	0	0	0	0	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	公募推薦入試	志願者	445	211	68	26	25	
		合格者	140	68	61	25	24	
		入学者(A)	79	31	32	17	10	
		入学定員(B)	50	30	65	60	51	
		A/B*100	158.0	103.3	49.2	28.3	19.6	
部	社会人入試※	志願者	11	4	3	2	2	
		合格者	1	2	2	1	2	
		入学者(A)	1	2	2	1	2	
		入学定員(B)	0	0	0	0	0	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	留學生入試※	志願者	0	0	0	0	6	
		合格者	0	0	0	4	3	
		入学者(A)	0	0	0	2	3	
		入学定員(B)	0	0	0	0	0	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
学 科 計	その他 ()	志願者	—	—	—	—	—	
		合格者	—	—	—	—	—	
		入学者(A)	—	—	—	—	—	
		入学定員(B)	—	—	—	—	—	
		A/B*100	—	—	—	—	—	
	学 部 合 計	志願者	2,359	1,096	619	452	355	
		合格者	582	283	522	405	320	
		入学者(A)	301	120	211	147	116	
		入学定員(B)	200	120	200	180	150	
		A/B*100	150.5	100.0	105.5	81.7	77.3	103.0
大 学 合 計	学 部 合 計	志願者	—	—	—	—	—	
		合格者	—	—	—	—	—	
		入学者(A)	—	—	—	—	—	
		入学定員(B)	—	—	—	—	—	
		A/B*100	—	—	—	—	—	
	大 学 合 計	志願者	—	—	—	—	—	
		合格者	—	—	—	—	—	
		入学者(A)	—	—	—	—	—	
		入学定員(B)	—	—	—	—	—	
		A/B*100	—	—	—	—	—	

※ 指定校推薦、社会人入試、留學生入試は定員を定めていない。
 ※ 付属校推薦、一芸一能入試、帰国生徒入試は実施していない。

(表13)

		入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)	
乗 学 部	乗	一般入試	志願者	—	67	115	34	34	
			合格者	—	42	104	34	32	
			入学者(A)	—	12	34	8	3	
		AO入試	入学定員(B)	—	13	28	19	19	
			A/B*100	—	92.3	121.4	42.1	15.8	
			志願者	—	6	14	3	6	
	科	指定校推薦	合格者	—	4	13	3	6	
			入学者(A)	—	4	12	3	5	
			入学定員(B)	—	2	5	8	8	
		公募推薦入試	A/B*100	—	200.0	240.0	37.5	62.5	
			志願者	—	1	0	0	0	
			合格者	—	1	0	0	0	
学 部	科	指定校推薦	入学者(A)	—	1	0	0	0	
			入学定員(B)	—	0	0	0	0	
			A/B*100	—	0.0	0.0	0.0	0.0	
		社会人入試	志願者	—	16	7	2	2	
			合格者	—	16	7	2	1	
			入学者(A)	—	5	4	2	1	
	部	公募推薦入試	入学定員(B)	—	5	17	13	13	
			A/B*100	—	100.0	23.5	15.4	7.7	
			志願者	—	0	0	0	0	
		社会人入試	合格者	—	0	0	0	0	
			入学者(A)	—	0	0	0	0	
			入学定員(B)	—	0	0	0	0	
学 部 合 計	科	留學生入試	入学定員(B)	—	0	0	0	0	
			A/B*100	—	0.0	0.0	0.0	0.0	
			志願者	—	0	0	0	2	
		その他	合格者	—	0	0	0	2	
			入学者(A)	—	0	0	0	2	
			入学定員(B)	—	0	0	0	2	
	部	留學生入試	入学定員(B)	—	0	0	0	0	
			A/B*100	—	0.0	0.0	0.0	0.0	
			志願者	—	—	—	—	—	
		その他	合格者	—	—	—	—	—	
			入学者(A)	—	—	—	—	—	
			入学定員(B)	—	—	—	—	—	
大 学 部 合 計	科	留學生入試	A/B*100	—	—	—	—		
			志願者	—	90	136	39	44	
			合格者	—	63	124	39	41	
		学 科 計	入学者(A)	—	22	50	13	11	
			入学定員(B)	—	20	50	40	40	
			A/B*100	—	110.0	100.0	32.5	27.5	67.5
	部	学 部 合 計	志願者	—	—	—	—	—	
			合格者	—	—	—	—	—	
			入学者(A)	—	—	—	—	—	
		大 学 部 合 計	入学定員(B)	—	—	—	—	—	
			A/B*100	—	—	—	—	—	
			志願者	—	—	—	—	—	
大 学 部 合 計	合格者	—	—	—	—	—			
	入学者(A)	—	—	—	—	—			
	入学定員(B)	—	—	—	—	—			
A/B*100	—	—	—	—	—				

※ 指定校推薦、社会人入試、留學生入試は定員を定めていない。
 ※ 付属校推薦、一芸一能入試、帰国生徒入試は実施していない。

(表13)

		入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)	
薬学部	動物生命薬科学科	一般入試	志願者	—	—	—	82	40	
			合格者	—	—	—	73	36	
			入学者(A)	—	—	—	25	8	
			入学定員(B)	—	—	—	19	19	
		A/B*100	—	—	—	131.6	42.1		
		AO入試	志願者	—	—	—	2	8	
			合格者	—	—	—	2	8	
			入学者(A)	—	—	—	2	8	
			入学定員(B)	—	—	—	8	8	
			A/B*100	—	—	—	25.0	100.0	
	志願者		—	—	—	2	1		
	指定校推薦	合格者	—	—	—	2	1		
		入学者(A)	—	—	—	2	1		
		入学定員(B)	—	—	—	0	0		
		A/B*100	—	—	—	0.0	0.0		
		志願者	—	—	—	3	5		
		合格者	—	—	—	3	5		
	公募推薦入試	入学者(A)	—	—	—	3	4		
		入学定員(B)	—	—	—	13	13		
		A/B*100	—	—	—	23.1	30.8		
志願者		—	—	—	0	0			
合格者		—	—	—	0	0			
入学者(A)		—	—	—	0	0			
社会人入試	入学定員(B)	—	—	—	0	0			
	A/B*100	—	—	—	0	0			
	志願者	—	—	—	0	0			
	合格者	—	—	—	0	0			
	入学者(A)	—	—	—	0	0			
	入学定員(B)	—	—	—	0	0			
留学生入試	A/B*100	—	—	—	0.0	0.0			
	志願者	—	—	—	—	—			
	合格者	—	—	—	—	—			
	入学者(A)	—	—	—	—	—			
	入学定員(B)	—	—	—	—	—			
	A/B*100	—	—	—	—	—			
薬学部合計	学 科 計	志願者	—	—	—	89	54		
		合格者	—	—	—	80	50		
		入学者(A)	—	—	—	32	21		
		入学定員(B)	—	—	—	40	40		
		A/B*100	—	—	—	80.0	52.5		
		志願者	2,359	1,186	755	580	453		
		合格者	582	346	646	524	411		
		入学者(A)	301	142	261	192	148		
		入学定員(B)	200	140	250	260	230		
		A/B*100	150.5	101.4	104.4	73.8	64.3		
		志願者	—	—	—	—	—		
		合格者	—	—	—	—	—		
		入学者(A)	—	—	—	—	—		
		入学定員(B)	—	—	—	—	—		
A/B*100	—	—	—	—	—				
薬学部合計	大 学 合 計	入学者(A)	—	—	—	—	—		
		入学定員(B)	—	—	—	—	—		

※ 指定校推薦、社会人入試、留学生入試は定員を定めていない。
 ※ 付属校推薦、一芸一能入試、帰国生徒入試は実施していない。

(表13)

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)
危 機 管 理 学 部	入試の種類	志願者	114	74	40	20	
		合格者	107	37	19	19	
		入学者(A)	41	21	9	5	
		入学定員(B)	33	33	30	25	
		A/B*100	124.2	63.6	30.0	20.0	
		志願者	17	19	13	12	
		合格者	17	18	12	12	
		入学者(A)	17	18	12	12	
		入学定員(B)	10	10	10	8	
		A/B*100	170.0	180.0	120.0	150.0	
	入試の種類	志願者	2	13	7	3	
		合格者	2	13	7	3	
		入学者(A)	2	13	7	3	
		入学定員(B)	0	0	0	0	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	
		志願者	38	16	4	0	
		合格者	38	16	4	0	
		入学者(A)	16	7	2	0	
		入学定員(B)	27	27	30	17	
		A/B*100	59.3	25.9	6.7	0.0	
入試の種類	志願者	0	1	0	0		
	合格者	0	0	0	0		
	入学者(A)	0	0	0	0		
	入学定員(B)	0	0	0	0		
	A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0		
	志願者	24	20	18	18		
	合格者	18	12	18	16		
	入学者(A)	13	10	9	13		
	入学定員(B)	0	0	0	0		
	A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0		
入試の種類	志願者	—	—	—	—		
	合格者	—	—	—	—		
	入学者(A)	—	—	—	—		
	入学定員(B)	—	—	—	—		
	A/B*100	—	—	—	—		
	志願者	195	143	82	53		
	合格者	182	129	78	50		
	入学者(A)	89	69	39	33		
	入学定員(B)	70	70	70	50		
	A/B*100	127.1	98.6	55.7	66.0	86.9	
学 科 合 計	志願者						
	合格者						
	入学者(A)						
	入学定員(B)						
	A/B*100						
	志願者						
	合格者						
	入学者(A)						
	入学定員(B)						
	A/B*100						
大 学 合 計	志願者						
	合格者						
	入学者(A)						
	入学定員(B)						
	A/B*100						
	志願者						
	合格者						
	入学者(A)						
	入学定員(B)						
	A/B*100						

※ 指定校推薦、社会人入試、留学生入試は定員を定めていない。
 ※ 付属校推薦、一芸一能入試、帰国生徒入試は実施していない。

(表13)

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)
危 機 管 理 学 部	環 境 安 全 シ ス テ ム 学 科	志願者	261	148	117	94	
		合格者	190	90	101	85	
		入学者(A)	53	13	15	20	
		入学定員(B)	33	33	30	46	
	A/B*100	160.6	39.4	50.0	43.5		
	A O 入 試	志願者	19	17	33	20	
		合格者	19	16	33	20	
		入学者(A)	19	16	33	20	
		入学定員(B)	10	10	10	16	
	指 定 校 推 薦	A/B*100	190.0	160.0	330.0	125.0	
		志願者	15	12	15	14	
		合格者	15	12	15	14	
		入学者(A)	15	12	15	14	
	公 募 推 薦 入 試	入学定員(B)	0	0	0	0	
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	
志願者		72	23	19	6		
合格者		71	22	18	5		
社 会 人 入 試	入学者(A)	24	7	10	3		
	入学定員(B)	27	27	30	28		
	A/B*100	88.9	25.9	33.3	10.7		
	志願者	0	0	0	0		
留 学 生 入 試	合格者	0	0	0	0		
	入学者(A)	0	0	0	0		
	入学定員(B)	0	0	0	0		
	A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0		
学 科 (その他)	志願者	10	15	17	18		
	合格者	7	12	12	17		
	入学者(A)	4	9	10	13		
	入学定員(B)	0	0	0	0		
学 科 計	A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0		
	志願者	—	—	—	—		
	合格者	—	—	—	—		
	入学者(A)	—	—	—	—		
学 部 合 計	入学定員(B)	—	—	—	—		
	A/B*100	—	—	—	—		
	志願者	377	215	201	152		
	合格者	302	152	179	141		
大 学 合 計	入学者(A)	115	57	83	70		
	入学定員(B)	70	70	70	90		
	A/B*100	164.3	81.4	118.6	77.8	110.5	
	志願者	—	—	—	—		
合格者	—	—	—	—			
入学者(A)	—	—	—	—			
入学定員(B)	—	—	—	—			
志願者	—	—	—	—			
合格者	—	—	—	—			
入学者(A)	—	—	—	—			
入学定員(B)	—	—	—	—			

※ 指定校推薦、社会人入試、留学生入試は定員を定めていない。
 ※ 付属校推薦、一芸一能入試、帰国生徒入試は実施していない。

(表13)

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)
危 機 管 理 学 部	入試の種類	志願者	112	70	41	43	51
		合格者	98	38	35	38	44
		入学者(A)	36	8	8	8	23
		入学者(B)	33	33	30	35	49
		A/B*100	109.1	24.2	26.7	22.9	46.9
	A O入試	志願者	28	36	36	31	28
		合格者	27	28	36	31	28
		入学者(A)	27	28	36	31	25
		入学者(B)	10	10	10	12	15
		A/B*100	270.0	280.0	360.0	258.3	166.7
	指定校推薦	志願者	20	14	13	13	12
		合格者	20	14	13	13	12
		入学者(A)	19	14	12	12	12
		入学者(B)	0	0	0	0	0
		A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
公募推薦入試	志願者	47	22	9	12	11	
	合格者	47	16	7	12	11	
	入学者(A)	20	11	5	9	5	
	入学者(B)	27	27	30	23	31	
	A/B*100	74.1	40.7	16.7	39.1	16.1	
社会人入試	志願者	0	0	0	0	0	
	合格者	0	0	0	0	0	
	入学者(A)	0	0	0	0	0	
	入学者(B)	0	0	0	0	0	
	A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
留学生入試	志願者	21	16	43	35	56	
	合格者	16	8	25	26	38	
	入学者(A)	14	8	15	19	34	
	入学者(B)	0	0	0	0	0	
	A/B*100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 ()	志願者	—	—	—	—	—	
	合格者	—	—	—	—	—	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	
	入学者(B)	—	—	—	—	—	
	A/B*100	—	—	—	—	—	
学 科 計	志願者	228	158	142	134	158	
	合格者	208	104	116	120	133	
	入学者(A)	116	69	76	79	99	
	入学者(B)	70	70	70	70	95	
	A/B*100	165.7	98.6	108.6	112.9	104.2	
学 部 合 計	志願者	—	—	—	—	—	
	合格者	—	—	—	—	—	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	
	入学者(B)	—	—	—	—	—	
	A/B*100	—	—	—	—	—	
大 学 合 計	志願者	—	—	—	—	—	
	合格者	—	—	—	—	—	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	
	入学者(B)	—	—	—	—	—	
	A/B*100	—	—	—	—	—	

※ 指定校推薦、社会人入試、留学生入試は定員を定めていない。
 ※ 付属校推薦、一芸一能入試、帰国生徒入試は実施していない。

(表13)

	入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)	
危 機 管 理 学 部	動 物 ・ 環 境 シ ス テ ム 学 科	志願者	—	—	—	—	73	
		合格者	—	—	—	—	55	
		入学者(A)	—	—	—	—	13	
		入学定員(B)	—	—	—	—	29	
		A/B*100	—	—	—	—	44.8	
		志願者	—	—	—	—	19	
		合格者	—	—	—	—	19	
		入学者(A)	—	—	—	—	18	
		入学定員(B)	—	—	—	—	10	
		A/B*100	—	—	—	—	180.0	
	指 定 校 推 薦 入 試	志願者	—	—	—	—	—	7
		合格者	—	—	—	—	—	7
		入学者(A)	—	—	—	—	—	6
		入学定員(B)	—	—	—	—	—	0
		A/B*100	—	—	—	—	—	0.0
		志願者	—	—	—	—	—	5
		合格者	—	—	—	—	—	5
		入学者(A)	—	—	—	—	—	2
		入学定員(B)	—	—	—	—	—	21
		A/B*100	—	—	—	—	—	9.5
社 会 人 入 試	志願者	—	—	—	—	—	0	
	合格者	—	—	—	—	—	0	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	0	
	入学定員(B)	—	—	—	—	—	0	
	A/B*100	—	—	—	—	—	0.0	
	志願者	—	—	—	—	—	23	
	合格者	—	—	—	—	—	16	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	14	
	入学定員(B)	—	—	—	—	—	0	
	A/B*100	—	—	—	—	—	0.0	
留 学 生 入 試	志願者	—	—	—	—	—	—	
	合格者	—	—	—	—	—	—	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	—	
	入学定員(B)	—	—	—	—	—	—	
	A/B*100	—	—	—	—	—	—	
	志願者	—	—	—	—	—	127	
	合格者	—	—	—	—	—	102	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	53	
	入学定員(B)	—	—	—	—	—	60	
	A/B*100	—	—	—	—	—	88.3	
学 科 計	志願者	—	—	—	—	—	—	
	合格者	—	—	—	—	—	—	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	—	
	入学定員(B)	—	—	—	—	—	—	
	A/B*100	—	—	—	—	—	—	
	志願者	—	—	—	—	—	—	
	合格者	—	—	—	—	—	—	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	—	
	入学定員(B)	—	—	—	—	—	—	
	A/B*100	—	—	—	—	—	—	
学 部 合 計	志願者	—	—	—	—	—	—	
	合格者	—	—	—	—	—	—	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	—	
	入学定員(B)	—	—	—	—	—	—	
	A/B*100	—	—	—	—	—	—	
	志願者	—	—	—	—	—	—	
	合格者	—	—	—	—	—	—	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	—	
	入学定員(B)	—	—	—	—	—	—	
	A/B*100	—	—	—	—	—	—	
大 学 合 計	志願者	—	—	—	—	—	—	
	合格者	—	—	—	—	—	—	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	—	
	入学定員(B)	—	—	—	—	—	—	
	A/B*100	—	—	—	—	—	—	
	志願者	—	—	—	—	—	—	
	合格者	—	—	—	—	—	—	
	入学者(A)	—	—	—	—	—	—	
	入学定員(B)	—	—	—	—	—	—	
	A/B*100	—	—	—	—	—	—	

※ 指定校推薦、社会人入試、留学生入試は定員を定めていない。
 ※ 付属校推薦、一芸一能入試、帰国生徒入試は実施していない。

(表13)

	入試の種類	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者数の比率(2005～2009年度平均)
危 機 管 理 学 部	一般入試	志願者	—	—	—	—	127
		合格者	—	—	—	—	113
		入学者(A)	—	—	—	—	36
		入学定員(B)	—	—	—	—	50
	AO入試	A/B*100	—	—	—	—	72.0
		志願者	—	—	—	—	24
		合格者	—	—	—	—	24
		入学者(A)	—	—	—	—	24
	指定校推薦	入学定員(B)	—	—	—	—	16
		A/B*100	—	—	—	—	150.0
		志願者	—	—	—	—	16
		合格者	—	—	—	—	16
	公募推薦入試	入学者(A)	—	—	—	—	14
		入学定員(B)	—	—	—	—	0
		A/B*100	—	—	—	—	0.0
		志願者	—	—	—	—	8
	社会人入試	合格者	—	—	—	—	8
		入学者(A)	—	—	—	—	5
		入学定員(B)	—	—	—	—	34
		A/B*100	—	—	—	—	14.7
留学生入試	志願者	—	—	—	—	0	
	合格者	—	—	—	—	0	
	入学者(A)	—	—	—	—	0	
	入学定員(B)	—	—	—	—	0	
その他	A/B*100	—	—	—	—	0.0	
	志願者	—	—	—	—	13	
	合格者	—	—	—	—	5	
	入学者(A)	—	—	—	—	3	
学 科 計	入学定員(B)	—	—	—	—	0	
	A/B*100	—	—	—	—	0.0	
	志願者	—	—	—	—	—	
	合格者	—	—	—	—	188	
学 部 合 計	入学者(A)	—	—	—	—	166	
	入学定員(B)	—	—	—	—	82	
	A/B*100	—	—	—	—	100	
	志願者	—	—	—	—	82.0	
大 学 合 計	合格者	800	516	425	339	473	
	入学者(A)	692	385	373	311	401	
	入学定員(B)	320	195	198	182	234	
	A/B*100	210	210	210	210	255	
大 学 合 計	志願者	152.4	92.9	94.3	86.7	91.8	
	合格者	3,159	1,702	1,180	919	926	
	入学者(A)	1,274	731	1,019	835	812	
	入学定員(B)	621	337	459	374	382	
大 学 合 計	A/B*100	410	350	460	470	485	
	志願者	151.5	96.3	99.8	79.6	78.8	

※ 指定校推薦、社会人入試、留学生入試は定員を定めていない。
 ※ 付属校推薦、一芸一能入試、帰国生徒入試は実施していない。

- [注] 1 「編入学試験」は、この表には記入しないください。
- 2 「一般入試」欄には入学入試センター試験を含めてください。
- 3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を（ ）内に記入してください。ただし、相当数の学生（約一割以上）を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を配置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。
- 6 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
- 7 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率（2005～2009年度平均）」欄に記入してください。
- 8 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。
- 9 各入学（募集）定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数

(表14)

学部	学科	入学定員	編入定員	収容定員		在籍学生数		B/A	D/C	在籍学生数						備考						
				総数(A)	うち編入学生数(C)	総数(B)	うち編入学生数(D)			第1年次		第2年次		第3年次			第4年次		第5年次		第6年次	
										学生数	留学者数(内数)	学生数	留学者数(内数)	学生数	留学者数(内数)		学生数	留学者数(内数)	学生数	留学者数(内数)	学生数	留学者数(内数)
薬学部	(薬学科(4年制))	—	—	—	103	—	—	—	—	—	1	1	—	—	102	102	—	—	—	—	2004—2005年 定員200名 編入5名(2年次)	
	薬学科(6年制)	150	10	655	5	538	0	0.82	0.00	—	15	160	37	156	11	91	—	—	—	—	2006年 定員120名 編入5名(4年次) 2007年 定員200名 編入10名(4年次) 2008年 定員180名 2009年 定員150名	
		40	—	150	—	86	—	0.57	—	—	4	22	10	35	3	14	—	—	—	—	2006年 定員20名 2007年 定員50名 2008—2009年 定員40名	
		40	—	80	—	53	—	0.66	—	—	22	31	—	—	—	—	—	—	—	—	2008—2009年 定員40名	
		230	10	885	5	780	0	0.88	0.00	—	168	214	48	191	14	207	102	—	—	—	2008—2009年 定員40名	
危機管理学部	危険管理システム学科	95	5	315	10	312	1	0.99	0.10	102	84	11	65	7	61	4	—	—	—	—	2004—2008年 定員70名 編入5名(3年次) 2009年 定員95名	
	動物・環境システム学科	60	5	60	—	54	—	0.90	—	54	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2009年 編入5名(3年次)	
	医療危機管理学科	100	5	100	—	82	—	0.82	—	82	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2009年 編入5名(3年次)	
	(防災システム学科)	—	—	200	10	135	1	0.68	0.10	—	31	2	39	3	65	5	—	—	—	—	2004—2007年 定員70名 編入5名(3年次) 2008年 定員50名	
	(環境安全システム学科)	—	—	240	10	199	—	0.83	—	—	68	2	81	5	50	1	—	—	—	—	2004—2007年 定員70名 編入5名(3年次) 2008年 定員90名	
計		255	15	915	30	782	2	0.85	0.07	238	3	183	15	185	15	176	10	—	—	—		
合計		485	25	1,800	35	1,562	2	0.87	0.06	406	23	397	63	376	29	383	112	—	—	—		

[注] 1 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースとそれぞれ分けて記入してください。

2 収容定員は、定員変更などにより、現在の入学定員の4倍（6年制の学部は6倍）ではない場合がありますので、該当する年度ごとの入学定員、編入定員に注意してください。

3 現在の在籍学生に関わる入学定員及び編入定員に変更があった場合には、「備考」欄に注記してください。

4 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

5 編入定員を設定している場合は、備考欄にその受け入れ年次を記入してください。

6 「B/A」及び「D/C」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。

7 通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成してください。

3 学部の入学者の構成

(表15)

学部	学科	入学者数										備考
		一般入試	A0入試	指定校推薦	公募推薦	社会人入試	留学生入試	その他	計			
薬学部	薬学科 (6年制)	募集定員	75	24	0	51	0	0	0	0	150	
		入学者数	53	38	10	10	2	3	—	—	116	
		計に対する割合	45.7%	32.8%	8.6%	8.6%	1.7%	2.6%	—	—	100.0%	
薬学部	薬科学科	募集定員	19	8	0	13	0	0	—	—	40	
		入学者数	3	5	0	1	0	2	—	—	11	
		計に対する割合	27.3%	45.5%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%	—	—	100.0%	
動物生命薬科学科	動物生命薬科学科	募集定員	19	8	0	13	0	0	—	—	40	
		入学者数	8	8	1	4	0	0	—	—	21	
		計に対する割合	38.1%	38.1%	4.8%	19.0%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%	
合計	合計	募集定員	113	40	0	77	0	0	—	—	230	
		入学者数	64	51	11	15	2	5	—	—	148	
		計に対する割合	43.2%	34.5%	7.4%	10.1%	1.4%	3.4%	—	—	100.0%	
危機管理学部	危機管理システム学科	募集定員	49	15	0	31	0	0	—	—	95	
		入学者数	23	25	12	5	0	34	—	—	99	
		計に対する割合	23.2%	25.3%	12.1%	5.1%	0.0%	34.3%	—	—	100.0%	
危機管理学部	動物・環境システム学科	募集定員	29	10	0	21	0	0	—	—	60	
		入学者数	13	18	6	2	0	14	—	—	53	
		計に対する割合	24.5%	34.0%	11.3%	3.8%	0.0%	26.4%	—	—	100.0%	
危機管理学部	医療危機管理学科	募集定員	50	16	0	34	0	0	—	—	100	
		入学者数	36	24	14	5	0	3	—	—	82	
		計に対する割合	43.9%	29.3%	17.1%	6.1%	0.0%	3.7%	—	—	100.0%	
合計	合計	募集定員	128	41	0	86	0	0	—	—	255	
		入学者数	72	67	32	12	0	51	—	—	234	
		計に対する割合	30.8%	28.6%	13.7%	5.1%	0.0%	21.8%	—	—	100.0%	

[注]1 入試の種類については、「Ⅲ 1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移」(表13)と同様の区分で作成してください。

2 各学科および合計欄の下段には全入学者数に対する入試の種類ごとの割合を記入してください。

3 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。

4 「その他」の入試による内訳を、備考欄に記載してください。

5 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。

6 各募集定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

4 学部・学科の退学者数

(表17)

学部	学科	2006年度						2007年度						2008年度									
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計	
薬学部	薬学科（4年制）	4	1	1	-	-	-	6	1	3	3	-	-	-	7	-	-	1	-	-	-	-	1
	薬学科（6年制）	5	-	-	-	-	-	5	18	3	-	-	-	21	14	7	-	-	-	-	-	21	
	薬科学科	2	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	9	4	4	-	-	-	-	-	8	
	動物生命薬科学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	計	11	1	1	-	-	13	28	6	6	3	-	-	37	19	11	1	-	-	-	-	31	
危機管理学部	防災システム学科	6	8	-	-	-	-	14	3	3	2	-	-	8	1	2	3	-	-	-	-	6	
	環境安全システム学科	4	4	1	-	-	-	9	4	2	2	-	-	8	3	1	2	-	-	-	-	6	
	危機管理システム学科	4	5	1	-	-	-	10	5	4	2	1	-	12	6	4	4	-	-	-	-	14	
	計	14	17	2	-	-	33	12	9	6	1	-	-	28	10	7	9	-	-	-	-	26	
	合計	25	18	3	-	-	46	40	15	9	1	-	-	65	29	18	10	-	-	-	-	57	

[注] 1 退学者数には、除籍者も含まれてください。

2 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

5 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数

(表18)

研究科	専攻	在籍学生数																
		入学定員			収容定員		修士課程						博士課程					
		修士課程	博士課程	博士課程	修士課程(A)	博士課程(B)	一般	社会人	留学生	その他	計(C)	C/A	一般	社会人	留学生	その他	計(D)	D/B
薬学研究科	薬科学専攻	10	—	—	20	—	31	—	1	—	32	1.60	—	—	—	—	—	—
計		10	—	—	20	—	31	—	1	—	32	1.60	—	—	—	—	—	—
危機管理学研究科	危機管理学専攻	5	—	—	10	—	11	—	5	—	16	1.60	—	—	—	—	—	—
計		5	—	—	10	—	11	—	5	—	16	1.60	—	—	—	—	—	—
合計		15	—	—	30	—	42	—	6	—	48	1.60	—	—	—	—	—	—

[注] 1 博士課程を前期と後期に区分している場合は、前期課程は修士課程の欄に後期課程は博士課程の欄に記載してください。

また、5年一貫制の博士課程は博士課程の欄に記載してください。

2 専門職学位課程については、該当する研究科・専攻名の後に「(専門職)」と付記し、付与する学位の種類に対応する欄に記載してください。

3 科目等履修生、聴講生、研究生は、在籍学生数には含めないでください。

4 「収容定員に対する在籍学生数比率」(C/AおよびD/B)欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。

「6 法科大学院の学生定員及び在籍学生数（表18-2）」
該当なし

「8 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移（表18-4）」

該当なし

IV 教員組織

1-1 全学の教員組織

(表19)

学部・学科、研究所・専攻、研究所等	専任教員数						助手	備考
	教授	准教授	講師	助教	計			
	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)		
薬学部	17	9	4	5	35	1		
薬学科	4 (1)	1	3	1	9 (1)	0		
動物生命薬科学科※	4	1	2	0	7	2	※平成20年度開設学科 設置基準上必要専任教員数は大学設置基準第53条の規程に基づき21年度は3/4となる。	
薬学部 計	25 (1)	11	9	6	51 (1)	3		
危機管理システム学科	7	3	4	1	15	0		
動物・環境システム学科※	4	1	2	0	7	0		
医療危機管理学科※	4 (1)	0	1	1	6 (1)	0	※平成21年度開設学科 大学設置基準第53条の規程に基づき、教員組織の段階的な整備については各年次に渡って行い、初年度必要教員数は2/4となる。	
(防災システム学科)	5	5	1	0	11	0		
(環境安全システム学科)	6	2	1	1	10	2		
危機管理学部 計	26 (1)	11	9	3	49 (1)	2		
薬科学研究所	[18]	[10]	[6]	[0]	[34]		学部と兼任	
薬科学専攻 計	[18]	[10]	[6]	[0]	[34]			
危機管理学専攻	[8]	[5]	[2]	[2]	[17]		学部と兼任	
危機管理学専攻 計	[8]	[5]	[2]	[2]	[17]			
合計	51 (2)	22	18	9	100 (2)	5		

[注]1 全学の専任教員について、学部、大学院研究科、専門職大学院、研究所等、各所属組織ごとに記載してください。

2 専門職大学院については、該当する研究科（または専攻名）の後に「（専門職）」と付記してください。

3 教育組織と教員組織が異なる場合は、専任教員が在籍しなくても、まず教育組織を記載し、その後に教員組織を記載し、当該教員組織に専任教員数を記入してください(次ページ記入例参照)。

4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。

5 本表においては、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」についても、専任教員数に含めて記入してください。

6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者（教育研究条等）において専任教員と同等の者を「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄（左側）に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については記入しないでください。

7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複して記入しないでください。

1-2 学部 学部の教員組織

(表19-2)

学部・学科等	専任教員数						助手	設置基準上必要専任教員数	専任教員1人当たりの在籍学生数(表14(B)/計(A))	兼任教員数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計(A)						
	特任等(内数)	特任等(内数)	特任等(内数)	特任等(内数)	特任等(内数)	特任等(内数)					
薬学部	17	9	4	5	35	1	28	19	TA24人		
薬科学科	4	1	3	1	9	0	8	22	TA4人		
動物生命薬科学科※	4	1	2	0	7	2	8	18	平成20年度開設のため、設置基準上必要専任教員数は大学設置基準第53条の規程に基づき21年度は3/4となる。TA2人		
薬学部 計	25	11	9	6	51	3	44	59			
危機管理システム学科	7	3	4	1	15	0	10	30	完成年次までに教員異動有り。 防災システム学科、環境安全システム学科は 平成21年度より募集停止。		
動物・環境システム学科※	4	1	2	0	7	0	14	32	※動物・環境システム学科および医療危機管理 理学科は平成24年度開設のため、設置基準上 必要専任教員数は大学設置基準第53条の規程 に基づき初年度は2/4となる。危機管理シガ、 防災シガ、環境安全シガ、それぞれTA7人、 TA2人、TA6人		
危機管理学部	4	0	1	1	6	0	10	40			
(防災システム学科)	5	5	1	0	11	0	—	13			
(環境安全システム学科)	6	2	1	1	10	2	—	10			
危機管理学部 計	26	11	9	3	49	2	34	125			
大学全体の取捨定員に 定める専任教員数							24				
合計	51	22	18	9	100	5	102	184			

※動物・環境システム学科および医療危機管理学科については平成21年開設のため、教員組織の段階的整備は各年次に行われ、完成年次までに教員異動有り。
設置基準上必要専任教員数は大学設置基準第53条の規程に基づき初年度は2/4となる。

[注]1 「専任教員数」については、(表19)のうち、学部教育を担当する専任教員について作表してください。

2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等の学部教育を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の学部教育担当組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。

3 「専任教員数」欄には、大学院研究科等の専任で、その研究科の基礎となる学部・学科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。その場合、(表19-3)及び(表19-4)の専任教員が、本表においても専任教員に算入されます。

たえば、大学院研究科に専任教員が配置され、学部教育が専ら研究科の専任教員によって行われている場合はこの典型的な例です。

4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」については、学部教育担当専任教員数を適切に記入してください。

5 当該学部・学科の専任であっても、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」については、専任教員数には含めないでください。

6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。

7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複記入しないでください。

8 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。併設短期大学からの兼務者も「兼任教員数」の欄に含めてください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。

同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は学科ごとではなく学部全体で記述しても結構です。

9 「設置基準上必要専任教員数」欄には、大学設置基準別表第一、第二をもとに算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。

10 「助手」欄には、大学院研究科等の専任で学部の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。

11 専任教務補助員（例えば、いわゆる副手、実験補助員等）、ティーチング・アシスタント（TA）、リサーチ・アシスタント（RA）については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

1-3 大学院研究科の教員組織（専門職大学院を除く）

(表19-3)

研究科・専攻	専任教員数						専任教員のうち		設置基準上必要専任教員数		兼任教員数	備考	
	教授	准教授	講師	助教	計		研究指導教員数	研究指導補助教員数	研究指導教員数	研究指導補助教員数			
					特任等(内数)	特任等(内数)							
薬科学専攻	18	10	6	0	34	0	29(16)	5(2)	8(6)	6	0		
修士課程													
危機管理学専攻	8	5	2	2	17	0	9(6)	8(2)	5(4)	3	2		
修士課程													
合計	26	15	8	2	51	0	38(22)	13(4)	13(10)	9	2		

() 内は教授の数を内数で示す。

- [注] 1 専任教員については、(表19)のうち、大学院研究科の教育を担当する専任教員について専攻、課程ごとに記入してください。
- 2 専門職大学院については、既存の研究科の1専攻として置かれていない場合であっても、次表(表19-4)により別に作表してください。
- 3 「専任教員数」欄には、学部・学科等の専任で、たとえば、その学部・学科等に基礎を置く当該研究科・専攻等においても専任として授業を担当している常勤教員数も含めて記入してください。その場合、前表(19-2)の専任教員が、本表にも専任教員に算入されます。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学院設置基準等における必要専任教員数に留意して大学院研究科の教育を担当する専任教員数を適切に記入してください。
- 5 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 6 「研究指導教員」とは、大学院設置基準第9条第1項各号に掲げる資格を有する教員を指し、「研究指導補助教員」とは、研究指導の補助を行い得る教員を指します。
- 7 「研究指導教員数」欄の()には、教授の数を内数で記入してください。
- 8 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を同一の課程に重複して算入しないでください。1人の専任教員を修士課程と博士課程の両課程においてそれぞれ1専攻に限り専任とすることはできませんが、どちらか一方の課程において、複数の専攻の専任とすることはできませんので、留意してください。
- 9 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」として記入する場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。
- 10 同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は専攻ごとではなく研究科全体で記入しても結構です。
- 11 「設置基準上必要専任教員数」欄には、「大学院に専攻ごとに置くものと定める件」(平成11年文部省告示第175号)により算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 12 「助手」欄には、学部・学科等の専任で大学院研究科の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 13 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

「1-4 専門職大学院の教員組織（表19-4）」
該当なし

1-5 事務組織

(表19-5)

部署名	専任職員		常勤嘱託職員	兼務職員	派遣職員	その他	計
	うち管理職						
大学事務局	4	4	0	0	0	0	4
小計	4	4	0	0	0	0	4
庶務部	1	1	1	0	0	0	2
庶務課	2	0	3	2	0	1	8
秘書課	1	0	1	0	0	0	2
小計	4	1	5	2	0	1	12
企画室	3	1	1	0	0	0	4
小計	3	1	1	0	0	0	4
経理部	4	2	0	0	0	0	4
経理課	4	2	0	0	0	0	4
小計	4	2	0	0	0	0	4
計	15	8	6	2	0	1	24
学務部	3	3	1	0	0	0	4
教務課	1	1	1	1	0	0	3
学生課	2	0	0	1	0	0	3
小計	6	4	2	2	0	0	10
入試広報室	6	2	2	2	1	0	11
入試広報課	6	2	2	2	1	0	11
小計	6	2	2	2	1	0	5
国際交流室	4	2	1	0	0	0	5
小計	4	2	1	0	0	0	5
キャリアセンター	3	2	1	1	0	0	5
小計	3	2	1	1	0	0	5
図書館事務室	2	0	4	0	0	0	6
小計	2	0	4	0	0	0	6
健康管理センター	1	0	1	2	0	0	4
小計	1	0	1	2	0	0	4
学習支援センター	1	0	0	1	0	0	2
小計	1	0	0	1	0	0	2
計	23	10	11	8	1	0	43
合計	38	18	17	10	1	1	67

- [注] 1 それぞれの部署について、業務の内容から「法人業務系」と「大学業務系」に大別して記載してください。
- 2 「専任職員」欄には、期間の定めのない雇用で、常勤勤務している職員数を、「常勤嘱託職員」欄には、期間の定めはあるが、専任職員に準じた雇用形態をとっている職員数を、「兼務職員」欄には、雇用期間が6カ月以上の職員数を、「派遣職員」欄には、労働者派遣契約を締結することにより受け入れられている職員数をそれぞれ記入してください。なお、いずれにも該当しない職員については、「その他」欄に記入してください。
- 3 部長・次長など「課」に属さない職員は、「部」でまとめて記入してください。
- 4 部署単位に「小計」、各系ごとに「計」を入れ、それぞれ集計してください。
- 5 「助手」は、「教員組織」(表19～表19-4)に記入してください。

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究指導の資格の有無	年間平均毎週授業時間数	最終学歴及び学位称号
							講義		演習		実験・実習・実技		計						
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
教授	かみざき 哲人 神崎 哲人	男	53	2007.4.1	2007.4.1	薬学科	総合薬物治療学	2.0	2.0					0.0	2.0	有	12.0	千葉大学医学部卒業 医学博士	
							医学概論	2.0						2.0	0.0				
							小児科学	2.0						2.0	0.0				
教授	こさげ 義人 小枝 義人	男	54	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	臨床内科学Ⅶ	2.0	2.0					0.0	2.0	無	9.0	国士館大学政治学 研究科博士課程 単位取得満期退学 (政治学)	
							特別実習 (総合演習を含む)							14.0	0.0				
							△医療薬学特論C (薬理・病態分析)	2.0						2.0	0.0				
教授	このしま 孝夫 末島 孝夫	男	60	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	計	6.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	18.0	有	28.1	京都薬科大学薬学部卒業 薬学博士	
							政治の仕組	4.0						4.0	0.0				
							社会の構造	2.0	2.0					2.0	2.0				
教授	こさげ 義人 小枝 義人	男	54	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	教養特別講義	2.0	2.0					0.0	2.0	無	9.0	国士館大学政治学 研究科博士課程 単位取得満期退学 (政治学)	
							報告文作成Ⅱ	2.0	2.0					0.0	2.0				
							マニキュア作成実習	2.0	2.0	4.0				4.0	0.0				
教授	このしま 孝夫 末島 孝夫	男	60	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	計	8.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	6.0	有	28.1	京都薬科大学薬学部卒業 薬学博士	
							基礎化学実習	8.0	6.0	4.0				6.0	6.0				
							薬用資源学	4.0	4.0					4.0	4.0				
教授	このしま 孝夫 末島 孝夫	男	60	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	薬用資源学実習	4.0	4.0					4.0	4.0	有	28.1	京都薬科大学薬学部卒業 薬学博士	
							天然物化学	1.0	1.0					1.0	0.0				
							漢方方剂学	1.0	1.0					1.0	0.0				
教授	このしま 孝夫 末島 孝夫	男	60	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	卒業研究	4.0	4.0					4.0	4.0	有	28.1	京都薬科大学薬学部卒業 薬学博士	
							特別実習 (総合演習を含む)	0.1	0.1					0.1	0.0				
							△基礎薬学概論	2.0	2.0					2.0	0.0				
教授	このしま 孝夫 末島 孝夫	男	60	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	△創薬科学特論1C (有機化学・薬理分析)	7.1	4.0	8.0	8.0	0.0	29.0	15.1	41.0	有	28.1	京都薬科大学薬学部卒業 薬学博士	
							計	7.1	4.0	8.0	8.0	0.0	29.0	15.1	41.0				

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究指導の資格の有無	年間平均毎週授業時間数	最終学歴及び学位称号
							講義		演習		実験・実習・実技		計						
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教授	齋藤 彌 さいとう やすひろ	男	61	2006.4.1	2006.4.1	薬学科	臨床薬理学実習	0.5				6.0				6.0	0.0	13.3	東邦大学薬学部卒業 博士(薬学)
							薬局管理学 事前病院・薬局実務実習 特別実習(総合演習を含む)	0.5			3.0				3.0				
教授	瀧川 明正 たきがわ あきまさ	男	50	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	計	0.5	0.0	0.0	0.0	9.0	17.0	9.5	17.0			21.2	京都大学薬学研究所 修士課程修了 薬学博士
							基礎物理学実習 薬科学ゼミナール 薬品分析学Ⅰ 薬品分析学Ⅱ 薬品分析学実習 機器分析学 △基礎薬学概論 △創薬科学精講ⅢB(物理・分析分野) △創薬科学演習ⅢB(物理・分析分野) △特別研究	4.0	4.0	0.1	6.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
教授	武田 光志 たけだ みつし	男	57	2007.4.1	2007.4.1	薬学科	臨床薬理学実習	8.8	4.0	8.7	8.8	6.0	6.0	23.5	18.8			10.3	東京薬科大学薬学部卒業 博士(医学)
							薬局管理学 特別実習(総合演習を含む)	0.5			6.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
							計	0.5	0.0	0.0	0.0	14.0	14.0	6.5	14.0				

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目												大学院における研究指導の資格の有無	最終学歴及び学位称号		
							科目名	講義				演習				実験・実習・実技					年間平均毎週授業時間数	
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
教授	永峰 草夫	男	68	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	英語 I 英語 II 科学英語 I 科学英語 II 教育行政学	6.0 6.0 4.0 4.0 2.0	6.0 6.0 4.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	11.0	無	ベンシルベニア州立大学院博士課程修了 P h . D						
教授	藤本 正文	男	61	2005.4.1	2005.4.1	薬学科	基礎生物学実習 応用薬理学実習 医薬品開発 薬物治療学 II 卒業研究 特別実習 (総合演習を含む) △基礎薬学概論 △臨床薬学特論A (薬物治療・薬理学分野) △臨床薬学特論B (薬物治療・薬理学分野)	2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 0.1 1.0	2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 0.1 1.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	26.1	有	京都大学薬学研究所修士課程修了 薬学博士						
教授	藤原 洋樹	男	65	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	英語 I 英語 II 科学英語 I 科学英語 II	3.1 8.0 2.0 4.0	3.1 8.0 2.0 4.0	9.0 9.0 8.0 8.0	9.0 9.0 8.0 8.0	0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0	11.0	無	岡山大学文学研究所修士課程修了 文学修士						
							計	10.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	12.0							

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究指導の資格の有無	最終学歴及び学位称号	
							毎週授業時間数												年間平均毎週授業時間数
							講義		演習		実験・実習・実技		計						
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
教授	細川 正清 ほしかわ まさきよ	男	53	2005.4.1	2005.4.1	薬学科	薬物動態学Ⅰ	4.0					0.0	4.0	33.1	有	千葉大学薬学研究所 薬学修士		
							薬物動態学Ⅱ	4.0					4.0	0.0					
							薬理学実習 卒業研究 特別実習(総合演習を含む) △基礎薬学概論 △臨床薬学演習B(薬物治療・薬剤学分野) △臨床薬学演習B(薬物治療・薬剤学分野) △特別研究	0.1 2.0 2.0 8.0 0.0 2.0 8.0		6.0	8.0		14.0	0.0 0.1 2.0 8.0				4.0 0.0 2.0 8.0	
計	6.1	4.0	18.0	18.0	6.0	14.0	30.1	36.0											
教授	増禰 俊幸 まねまわ としゆき	男	51	2005.4.1	2005.4.1	薬学科	微生物学Ⅰ	2.0					0.0	2.0	25.1	有	静岡薬科大学 (現 静岡国立 大学)薬学研 究科修士課程 修了 薬学博士		
							微生物学Ⅱ	4.0					0.0	4.0					
							免疫学Ⅰ 免疫/微生物学実習 特別実習(総合演習を含む) △基礎薬学概論 △臨床科学演習VA(応用微生物・衛生分野) △臨床科学演習VA(応用微生物・衛生分野) △特別研究	2.0 0.1 1.0 1.0 8.0		9.0 14.0	1.0 8.0	1.0 8.0	0.0 0.0 1.0 8.0	0.0 0.0 1.0 8.0					
計	3.1	6.0	9.0	9.0	0.0	23.0	12.1	38.0											

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目											大学院における研究指導の有無	最終学歴及び学位称号			
							毎週授業時間数															
							科目名	講義		演習		実験・実習・実技		計								
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期		後期	前期	後期	計											
准教授	岩淵 紳一郎	男	40	2006.9.1	2006.9.1	薬学科	基礎物理学 基礎物理学実習 薬品物理化学実習 △創薬科学特論ⅢA (物理・分析分野) △創薬科学演習ⅢA (物理・分析分野)	4.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.0	6.0	4.0	0.0	0.0	6.0	9.5	無	北陸先端科学技術大学院大学材料科学研究科博士課程修了 博士 (材料科学)	
准教授	久保田 隆廣	男	44	2006.4.1	2006.4.1	薬学科	薬物動態学Ⅲ 薬理学実習 △創薬科学特論B (薬物治療・薬理学分野) △創薬科学演習B (薬物治療・薬理学分野)	1.0	4.0	1.0	1.0	6.0	6.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.5	有	千葉大学薬学研究所博士課程修了 薬学博士
准教授	佐々木 啓子	女	48	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	機能形態学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分子/細胞生物学実習 △創薬科学特論ⅡB (生化学・分子生物学分野) △創薬科学演習ⅡB (生化学・分子生物学分野)	4.0	4.0	1.0	1.0	6.0	6.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	8.5	有	北海道大学薬学部卒業 博士 (医学)	
准教授	高崎 みどり	女	47	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	基礎化学実習 生薬学Ⅰ 漢方医学 漢方医学総論 薬用資源学実習 △創薬科学特論ⅠC (有機化学・薬学分野)	4.0	4.0	1.0	1.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	12.5	有	京都薬科大学薬学部卒業 博士 (薬学)		
計								6.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	6.0	6.0	19.0					

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目											大学院における研究指導の資格の有無	最終学歴及び学位称号
							科目名	毎週授業時間数						年間平均毎週授業時間数					
								講義	演習		実験・実習・実技		計						
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	計							
准教授	橋本 裕蔵 はしもと ゆうぞう	男	55	2004.4.1	2004.4.1	薬学科	生活と法律	2.0	2.0				2.0	2.0	2.0	8.0	無	中央大学法学研究科博士課程満期大学 法学修士	
							日本国憲法	2.0	2.0				2.0	2.0	2.0				
							世界と日本	2.0	2.0				0.0	2.0	2.0				
							報告文作成 I	2.0	2.0				2.0	0.0	2.0				
							危機管理法体系 I	2.0	2.0				2.0	0.0	2.0				
計	8.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0	8.0										
准教授	中 正美 なば まさみ	男	45	2005.4.1	2005.4.1	薬学科	製剤学 I	4.0					0.0	4.0	7.0	無	名古屋市立大学薬学研科博士課程修了 博士 (医学)		
							製剤学 II	4.0					4.0	0.0					
							薬理学実習			6.0			6.0	0.0					
							計	4.0	4.0	0.0	0.0	6.0	10.0	4.0					
							基礎生物学実習	2.0					6.0	0.0				6.0	
臨床薬理学 I	1.0						2.0	0.0											
臨床薬理学 III							1.0	0.0											
臨床薬理学実習			6.0			6.0	0.0	6.0											
特別実習 (総合演習を含む)							0.0	14.0	14.0										
計	3.0	0.0	0.0	0.0	6.0	20.0	9.0	20.0	20.0										
准教授	森 雅博 もり まさひろ	男	46	2006.9.1	2006.9.1	薬学科	基礎生物学実習						0.0	6.0	15.0	有	東京大学薬学系研究科博士課程修了 薬学博士		
							薬物治療学 I	4.0					6.0	0.0				4.0	
							薬物治療学 III	2.0						2.0				0.0	
							応用薬理学実習	1.0					9.0	0.0				9.0	
							△臨床薬学特論A (薬物治療・薬理学分野)							1.0				0.0	
△臨床薬学実習A (薬物治療・薬理学分野)							1.0	1.0											
△臨床特別研究							3.0	3.0	3.0										
計	3.0	4.0	4.0	4.0	0.0	15.0	7.0	15.0	23.0										

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究指導の有無	年間平均毎週授業時間数	最終学歴及び学位称号	
							科目名	講義		演習		実験・実習・実技		計						
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期				後期
助教	大高 泰靖 おほたか ひさやす	男	35	2005.4.1	2007.4.1	薬学科	基礎物理学実習	0.7											岡山理科大学工学研究科博士課程修了 博士(工学)	
							薬品分析学実習 △創薬科学特論ⅡB(物理・分析分野) △創薬科学特論ⅢB(物理・分析分野)	0.7												7.1
							計	0.7	0.0	0.7	0.7	6.0	6.0	7.4	6.7					
助教	照井 祐介 てらゐ けんすけ	男	32	2006.4.1	2007.4.1	薬学科	病態生化学Ⅰ	2.0											東京薬科大学生命科学研究科博士課程修了 博士(生命科学)	
							病態生化学Ⅱ	2.0												6.5
							計	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0	2.0	11.0				
助教	中山 喜明 なかやま よしあき	男	28	2008.4.1	2009.4.1	薬学科	生化学Ⅱ	2.0											京都市薬学研究所博士課程修了 博士(薬学)	
							生化学/応用遺伝子学実習	2.0												5.5
							計	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0	2.0	9.0				
助教	福井 貴史 ふくい たかし	男	31	2007.4.1	2008.4.1	薬学科	微生物学Ⅰ		2.0										大阪大学医学系研究科博士課程修了 博士(医学)	
							免疫/微生物学実習													5.5
							計	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0	0.0	11.0				
助教	柳澤 泰任 やなぎさわ たいにん	男	32	2004.4.1	2007.4.1	薬学科	衛生化学Ⅰ	2.0											倉敷芸術科学大学産業科学技術研究科博士課程修了 博士(工学)	
							衛生/公衆衛生学実習					6.0								4.0
							計	2.0	0.0	0.0	0.0	6.0	6.0	8.0	0.0	0.0				

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	氏がな がな	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任 年月日	所属学科	授業科目												大学院に おける研 究指導の 資格の有 無	最終学歴及び学 位称号				
							科目名	毎週授業時間数						年間平均 毎週授業 時間数										
								講義	演習		実験・実習 ・実技		計											
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	計										
教授	龍澤 毅 たきざわ つよし	男	67	2004.4.1	2004.4.1	薬科学科	情報処理演習	12.0						12.0	0.0	23.5	無	東北大学理学研 究科博士課程修 了 理学博士						
							統計学	4.0													0.0	4.0		
教授	濱名 洋 はまな ひろし	男	62	2004.4.1	2004.4.1	薬科学科	卒業研究	1.0	8.0						8.0	8.0	38.1	有	東京薬科大学製 薬研究所博士課 程修了 薬学博士					
							特別実習 (総合演習を含む)																	
							△基礎薬学概論	0.1																
							△創薬科学演習1B (有機化学・薬部分野)																	
							△創薬科学演習1B (有機化学・薬部分野)																	
							△特別研究																	
							計	10.1	6.0	17.0	17.1	6.0	20.0	33.1	43.1									
							薬学概論	4.0															4.0	0.0
							基礎化学実習																6.0	6.0
							薬科学ゼミナール																0.0	0.1
							コミュニケーション																0.0	2.0
							薬化学II	4.0	2.0														4.0	0.0
創薬化学													0.0	1.0										
理論有機化学ミニゼミナール													0.0	2.0										
情報薬学	2.0												2.0	0.0										
薬化学実習													2.0	0.0										
卒業研究													6.0	0.0										
特別実習 (総合演習を含む)													8.0	8.0										
△基礎薬学概論													14.0	14.0										
△創薬科学概論1B (有機化学・薬部分野)													0.0	0.0										
△創薬科学演習1B (有機化学・薬部分野)													0.0	1.0										
△創薬科学演習1B (有機化学・薬部分野)													1.0	1.0										
△特別研究													8.0	8.0										
計	10.1	6.0	17.0	17.1	6.0	20.0	33.1	43.1																

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究指導の資格の有無	最終学歴及び学位称号	
							毎週授業時間数												年間平均毎週授業時間数
							講義		演習		実験・実習・実技		計						
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
教授	松岡 耕二 まつおか こうじ	男	58	2004.4.1	2004.4.1	薬科学科	薬科学ゼミナール	4.0	2.0	0.1	8.0	8.0	6.0	14.0	0.0	0.1	32.6	北海道大学薬学部卒業 薬学博士	
							論文作成	4.0	2.0	0.1	8.0	8.0	6.0	14.0	0.0	0.1	32.6		
							機能形態学 I	4.0	2.0	0.1	8.0	8.0	6.0	14.0	0.0	0.1	32.6		
							分子生物学 I	4.0	2.0	0.1	8.0	8.0	6.0	14.0	0.0	0.1	32.6		
教授	村上 泰眞 むらかみ やすまき	男	72	2004.4.1	2004.4.1	薬科学科	卒業研究	0.1	1.0	8.0	8.0	6.0	14.0	0.0	0.1	11.6	東京大学薬学研究所 博士課程了 薬学博士		
							分子/細胞生物学実習	0.1	1.0	8.0	8.0	6.0	14.0	0.0	0.1	11.6			
							△基礎薬学概論	0.1	1.0	8.0	8.0	6.0	14.0	0.0	0.1	11.6			
							特別実習 (総合演習を含む)	0.1	1.0	8.0	8.0	6.0	14.0	0.0	0.1	11.6			
准教授	岡本 能弘 おかもと よしひろ	男	42	2005.4.1	2005.4.1	薬科学科	△創薬科学特論 II B (生化学・分子生物分野)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	16.0	静岡県立大学薬学研究科 修士課程了 博士(薬学)		
							△創薬科学特論 II B (生化学・分子生物分野)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	16.0			
							△創薬科学特論 IV A (応用微生物・薬生分野)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	16.0			
							△創薬科学特論 IV A (応用微生物・薬生分野)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	16.0			
計							7.0	0.0	1.0	1.0	0.0	23.0	8.0	24.0					
計							7.0	0.0	1.0	1.0	0.0	23.0	8.0	24.0					

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究指導の資格の有無	最終学歴及び学位称号		
							科目名	講義		演習		実験・実習・実技		計		年間平均毎週授業時間数				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
講師	金子 雅幸 まさゆき かげ	男	34	2005.4.1	2005.4.1	薬科学科	基礎生物学実習												有	北海道大学薬学 研究科修士課程 修了 博士 (薬学)
							薬理学Ⅱ	4.0												
講師	小林 照幸 こばやし てるゆき	男	36	2006.4.1	2007.4.1	薬科学科	薬理学実習	1.0	1.0	1.0									有	静岡県立大学薬 学研究科博士課 程修了 博士 (薬学)
							△医療薬学特論A (薬理・病態分野)													
講師	杉本 幹治 すぎもと かつじ	男	39	2004.4.1	2004.4.1	薬科学科	△医療薬学演習A (薬理・病態分野)		1.0										有	京都大学薬学研 究科修士課程修 了 博士 (医学)
							基礎物理学実習	5.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
助教	亀甲 龍彦 かめがらみ たくみ	男	32	2005.9.1	2009.4.1	薬科学科	放射薬品化学Ⅰ	4.0											無	京都大学薬学研 究科修士課程修 了 博士 (薬学)
							放射薬品化学Ⅱ													
							薬品分析学実習	1.0		1.0			6.0							
							△創薬科学特論MB (物理・分析分野)													
							△創薬科学演習MB (物理・分析分野)				1.0									
							計	5.0	4.0	1.0	1.0	6.0	6.0	6.0	12.0	11.0				
							基礎物理学実習													
							薬品物理化学実習					6.0								
							計	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0			

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究指導の資格の有無	最終学歴及び学位称号				
							講義		演習		実験・実習・実技		計		年間平均毎週授業時間数							
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
教授	伊藤 正樹	男	51	2004.4.1	2004.4.1	動物生命薬科学科	生化学Ⅰ 2.0 生化学Ⅱ 2.0 生化学/応用遺伝子学実習 1.0 バイオ医薬品とゲノム情報 特別実習(総合演習を含む) 0.1 △基礎薬学概論 1.0 △創薬科学特論ⅡA(生化学・分子生化学分野) 1.0	2.0												有	京都大学大学院薬学研究科博士 後期課程修了 薬学博士	
教授	柴原 壽行	男	58	2006.12.1	2006.12.1	動物生命薬科学科	薬学概論 1.0 薬科学ゼミナール 0.5 実験動物学 1.0 動物特性学 1.0 動物機能形態学実習 特別実習(総合演習を含む) 0.7 △創薬科学特論ⅡB(応用微生物・衛生分野) 1.0 △リスクス評価特論ⅡX(感病性と臨床検査) 1.0	2.0	0.1					23.0						有	北海道大学獣医学部卒業 獣医学博士	
教授	田中 紀子	女	58	2009.4.1	2009.4.1	動物生命薬科学科	動物機能形態学 1.0 動物機能形態学実習 特別実習(総合演習を含む) 0.7 △創薬科学特論ⅡB(応用微生物・衛生分野) 1.0	2.0						17.0							有	北海道大学獣医学研究科修士課程修了 獣医学博士
							計	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.0	4.1	25.0						
							計	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.0	2.0	19.3						
							計	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.0	15.0						
							計	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	1.0	15.0						

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究指導の資格の有無	年間平均毎週授業時間数	最終学歴及び学位称号
							毎週授業時間数												
							講義		演習		実験・実習・実技		計						
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	計							
教授	まつもと まさむ 松本 裕	男	48	2004.4.1	2004.4.1	動物生命薬科学科	基礎物理学実習	4.0					6.0	0.0	6.0	26.6	京都大学薬学研究所 了 薬学博士		
							薬品物理化学 I	4.0					0.0	4.0					
							薬品物理化学 II				6.0	4.0	0.0	0.0					
							薬品物理化学実習						6.0	0.0					
特別実習 (総合演習を含む)	0.1				14.0	0.0	14.0	0.0	14.0										
△基礎薬学概論	1.0					0.0	1.0			0.0	1.0								
△創薬科学特論ⅢA (物理・分析分野)							1.0	1.0			1.0	1.0							
△創薬科学特論ⅢB (物理・分析分野)							8.0	8.0			8.0	8.0							
△特別研究							4.1	5.0	9.0	9.0	6.0	20.0	19.1	34.0					
准教授	ほりもと まさお 堀本 政夫	男	54	2009.4.1	2009.4.1	動物生命薬科学科	トキシコロジー I	2.0						2.0	0.0	11.9	帯広畜産大学畜産学研究科 了 修士課程修了 博士 (獣医学)		
							トキシコロジー II						0.0	2.0					
							動物機能形態学	1.0					1.0	0.0					
							実験動物学	1.0					1.0	0.0					
動物機能形態学実習							3.0	0.0	3.0										
特別実習 (総合演習を含む)	0.7						14.0	0.0	14.0										
△創薬科学特論ⅣB (応用微生物・薬学分野)							4.0	2.7	0.0	0.0	0.0	17.0	4.0	19.7					
計																			
講師	うちがわ ありゆい 内川 隆一	男	53	2009.4.1	2009.4.1	動物生命薬科学科	動物臨床検査学	2.0						0.0	2.0	9.5	北海道大学獣医学研究科 了 修士課程修了 医学博士		
							動物機能形態学実習						3.0	0.0	3.0				
							特別実習 (総合演習を含む)						14.0	0.0	14.0				
							計	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	17.0	0.0	19.0				

2 専任教員個別表

薬学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	職年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究指導の資格の有無	最終学歴及び学位称号						
								科目名		毎週授業時間数						年間平均毎週授業時間数									
								講義	演習	実験・実習・実技	計	前期	後期	前期	後期		前期			後期					
講師	おおくら かつと 大倉 一人	男	46	2006.10.1	2006.10.1	2006.10.1	動物生命薬科学科	基礎生物学実習	1.0	2.0														徳島大学薬学研究所 了 薬学博士	
								臨床薬理学Ⅱ	1.0															有	
								臨床薬理学Ⅲ	1.0																
								臨床薬理学実習	1.0		6.0														
								△臨床薬学特論C (薬物治療・薬理学分野)																	
								△臨床薬学演習C (薬物治療・薬理学分野)																	
								計	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	6.0	6.0	9.0	9.0								

[注] 1 「Ⅳ 1 全学の教員組織」(表19)に記載の専任教員については、所属組織ごとに作成してください。ただし、大学附置研究所、学部附属研究所、附属病院等の教員については、授業を担当している教員についてのみ記載してください。

2 「科目名」欄に記載する担当科目のうち、大学院研究科の授業科目には△印を付けてください。

3 「授業科目」欄については、セメスター制の場合を例示していますが、通年制の場合、3学期制の場合等は、適宜、欄を修正して記入してください。

4 「毎週授業時間数」は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、時間数に換算して記入してください(例えば1コマ90分の場合は、2時間)。

5 1授業科目を複数の教員で担当する場合は、当該授業時数を担当者数で除して毎週授業時間数を算出してください。

6 「年間平均毎週授業時間数」欄には、各専任教員ごとの前期と後期の担当授業時間の合計を2で割った年間平均の時間数を記入してください。

7 「大学院における研究指導資格の有無」欄には、大学が定める基準に基づいて資格の有無を記入してください。

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究指導担当資格の有無	年間平均毎週授業時間数	最終学歴及び学位称号								
							科目名	講義		演習		実験・実習・実技		計													
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期												
教授	浅原 富士夫 あしはら ふじお	男	61	2004.4.1	2004.4.1	危機管理システム学科	経済の仕組	4.0	2.0					4.0	2.0							東京大学経済学部卒業 経済学士	12.0				
							ダイバート	2.0						2.0	0.0				2.0	0.0							
							金融危機論		2.0										0.0	2.0							
							企業財務論		2.0										0.0	2.0							
							教養ゼミナールⅠ			2.0									2.0	0.0							
							教養ゼミナールⅡ				2.0								0.0	2.0							
							危機管理システム学ゼミナールⅠ					2.0							2.0	0.0							
							危機管理システム学ゼミナールⅡ						2.0						0.0	2.0							
							危機管理システム学演習Ⅰ						2.0						2.0	0.0							
							危機管理システム学演習Ⅱ							2.0					0.0	2.0							
教授	木村 栄宏 きむら ひでひろ	男	51	2006.4.1	2006.4.1	危機管理システム学科	計	6.0	6.0	6.0	6.0	0.0	0.0	12.0	12.0							日本工業大学専門職大学院技術経営研究科修士課程修了 修士(技術経営)	19.0				
							危機管理学入門Ⅲ(リスク・危機)	2.0										2.0	0.0								
							リスクマネジメント	2.0										2.0	0.0								
							キャリアデザインⅠ			1.0								0.0	1.0								
							キャリアデザインⅡ			1.0								0.0	1.0								
							現代社会分析			2.0								0.0	2.0								
							経営と組織				2.0							0.0	2.0								
							教養ゼミナールⅠ					2.0						2.0	0.0								
							教養ゼミナールⅡ						2.0					0.0	2.0								
							危機管理システム学ゼミナールⅠ							2.0				2.0	0.0								
危機管理システム学ゼミナールⅡ								2.0			0.0	2.0															
危機管理システム学演習Ⅰ								2.0			2.0	0.0															
危機管理システム学演習Ⅱ								8.0	8.0		8.0	0.0	2.0														
卒業研究												8.0	8.0														
計							4.0	6.0	14.0	14.0	0.0	0.0	18.0	20.0													

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び学 位称号	
							科目名	講義		演習		実験・実習 ・実技		計						
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
准教授	おぐら 主 普氏	男	47	2004.4.1	2004.4.1	危機管理 システム学科	社会心理学 人間行動学 リスク認知論 統計学Ⅱ 緊急時心理学 教養ゼミナールⅠ 教養ゼミナールⅡ 危機管理システム学ゼミナールⅠ 危機管理システム学ゼミナールⅡ 危機管理システム学演習Ⅰ 危機管理システム学演習Ⅱ 卒業研究 △総合危機管理特論Ⅰ(基盤) △総合危機管理特論Ⅲ(災害) △リスク評価特論Ⅶ(災害心理) △総合危機管理演習Ⅱ(災害)	2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0	2.0 2.0 2.0	0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0	2.0 2.0 2.0	20.9	無	筑波大学心理学 研究科博士課程 修士 学位博士
							計	4.6	8.6	14.3	14.3	0.0	0.0	18.9	22.9					

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究担当資格の有無	最終学歴及び学位称号								
							講義		演習		実験・実習・実技		計													
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期												
講師	井上 雅照	男	35	2008.4.1	2008.4.1	危機管理学部 システム学科	基礎数学	6.0													京都大学理学研究科博士課程修了 博士(理学)					
							基礎数学演習	2.0	2.0																	
							応用数学Ⅰ																			
							応用数学Ⅱ		2.0																	
							応用数学Ⅲ		2.0																	
							教養ゼミナールⅠ		2.0	2.0																
計							8.0	4.0	4.0	2.0	2.0	0.0	0.0	12.0	6.0											
講師	戸塚 唯氏	男	37	2004.4.1	2004.4.1	危機管理学部 システム学科	人間の心理学	4.0	4.0												広島大学教育学部 研究科博士課程修了 博士(心理学)					
							教育心理学	2.0	2.0																	
							教育相談の研究	2.0	2.0																	
							教養ゼミナールⅠ			2.0																
							教養ゼミナールⅡ				2.0															
							総合演習 教育実習Ⅰ				2.0	2.0	2.0	2.0												
計							8.0	8.0	2.0	4.0	2.0	0.0	0.0	12.0	12.0											

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	職年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び学 位称号
								科目名	講義		演習		実験・実習 ・実技		計					
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
教授	坂本 尚史 さかもと ながひさみ	男	62	2004.4.1	2004.4.1	2004.4.1	動物・環境 システム学科	危機管理学入門Ⅰ(環境)	1.0		1.5				1.0	0.0				
								教養ゼミナールⅠ		1.5			1.5	0.0						
								教養ゼミナールⅡ			1.5			1.5	0.0					
								地学Ⅱ				0.4		0.4	2.0					
								環境システム実験				0.4		0.4	0.4					
								地球物質の科学	2.0					2.0	0.0					
								粘土と土壌の科学	2.0					2.0	0.0					
								地球と資源の化学	2.0					2.0	2.0					
								環境科学							0.0					
								卒業研究			8.0	8.0			8.0	8.0				
△総合危機管理特論Ⅱ(環境)	0.3	0.3					0.3	0.3												
△リスク評価特論Ⅰ(表層地質環境)	2.0						2.0	0.0												
△総合危機管理演習Ⅰ(環境)			0.3	0.3			0.3	0.3												
△特別研究Ⅰ			4.0	4.0			4.0	4.0												
△特別研究Ⅱ			6.0	6.0			6.0	6.0												
計							7.3	6.3	19.8	19.8	0.4	0.4	27.5	26.5						

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目												大学院における研究指導担当資格の有無	年間平均毎週授業時間数	最終学歴及び学位称号
							科目名						毎週授業時間数								
							講義		演習		実験・実習・実技		計								
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
教授	藤谷 登 <small>のぼる</small>	男	56	2005.4.1	2005.4.1	医療危機管理学科	病理学 I	2.0						2.0	0.0	有	28.4	名古屋保健衛生大学衛生学部卒業 医学博士			
							臨床検査総論 I	2.0						2.0	0.0						
							解剖学	2.0						2.0	0.0						
							災害と医療	0.3					0.3	0.0							
							健康と環境	0.4					0.4	0.0							
							臨床検査総論実習 I							3.0	3.0						
							医学検査	2.0					2.0	0.0							
							解剖学実習							0.0	2.0						
							解剖学	2.0						0.0	2.0						
							教養ゼミナール I			0.1				0.1	0.0						
教養ゼミナール II			8.0	2.0			8.0	2.0													
卒業研究			8.0	8.0			8.0	8.0													
△総合危機管理学特論Ⅳ (医療技術)	0.5	0.5					0.5	0.5													
△総合危機管理学実習Ⅲ (医療技術)			0.5	0.5			0.5	0.5													
△特別研究 I			4.0	4.0			4.0	4.0													
△特別研究 II			6.0	6.0			6.0	6.0													
計			7.2	4.5	18.6	20.5	0.0	6.0	25.8	31.0											
教授	ムラヤマ・ムルアカ	男	47	2009.4.1	2009.4.1	医療危機管理学科	医用機器学概論 I	2.0						2.0	0.0	無	2.0	東京電機大学理工学部卒業 工学博士			
							生命と工学	2.0						0.0	2.0						
							計	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0							

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目												大学院における研究指導担当資格の有無	年間平均毎週授業時間数	最終学歴及び学位称号	
							科目名		講義		演習		実験・実習・実技		計							
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
講師	岡林 徹 <small>おかたしほる</small>	男	37	2008.4.1	2008.4.1	医療危機管理学科	教養ゼミナールⅠ		0.1						0.1	0.0	岡山理科大学工学研究科博士課程修了 博士(工学)	13.1				
							教養ゼミナールⅡ			2.0									0.0	2.0		
							医用生体計測装置学	2.0													2.0	0.0
							生体物性工学	2.0													2.0	0.0
							プログラミングⅠ	1.0													1.0	0.0
							電気・電子工学実験Ⅱ					3.0									3.0	0.0
							電気・電子工学Ⅱ	2.0													0.0	2.0
							電気・電子工学実験Ⅰ														0.0	3.0
							生体機能代行装置学実習Ⅱ					3.0									3.0	0.0
							生体機能代行装置学実習Ⅲ					3.0									3.0	0.0
医用生体計測装置学実習					3.0							3.0	0.0									
△総合危機管理精論Ⅳ(医療技術)	0.5	0.5											0.5	0.5								
△総合危機管理精論Ⅲ(医療技術)								0.5	0.5				0.5	0.5								
計							5.5	2.5	0.6	2.5	12.0	3.0	18.1	8.0								
助教	征野 友美 <small>よしの ともみ</small>	女	28	2009.4.1	2009.4.1	医療危機管理学科	教養ゼミナールⅠ		0.1						0.1	0.0	北里大学医療衛生学部卒業 学士(臨床工学)	1.1				
							教養ゼミナールⅡ			2.0											0.0	2.0
							計	0.0	0.0	0.1	2.0	0.0	0.0	0.1	2.0							
							教育学原論	2.0	2.0												2.0	2.0
							生涯学習論	2.0	2.0												2.0	0.0
							教職概論	2.0	2.0												2.0	0.0
							教育実習Ⅰ					2.0									2.0	0.0
							道徳教育の研究	2.0	2.0												2.0	2.0
							総合演習									2.0					0.0	2.0
							介護等体験の研究	2.0	2.0												0.0	2.0
計	8.0	6.0	0.0	2.0	2.0	0.0	10.0	8.0														
教授	上北 彰 <small>うえきた てる</small>	男	61	2004.4.1	2004.4.1	防災システム学	計	0.0	0.0	0.1	2.0	0.0	0.0	0.1	2.0							
							教育学原論	2.0	2.0										2.0	2.0		
							生涯学習論	2.0	2.0										2.0	0.0		
							教職概論	2.0	2.0										2.0	0.0		
							教育実習Ⅰ					2.0							2.0	0.0		
							道徳教育の研究	2.0	2.0										2.0	2.0		
							総合演習								2.0				0.0	2.0		
							介護等体験の研究	2.0	2.0										0.0	2.0		
							計	8.0	6.0	0.0	2.0	2.0	0.0	10.0	8.0							

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	職年	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究指導担当資格の有無	年間平均毎週授業時間数	最終学歴及び学位称号									
								科目名		講義		演習		実験・実習・実技		計													
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期												
教授	田中 厚成 なかのこうせい	男	66	2004.4.1	2004.4.1	2004.4.1	防災システム学科	河川工学	2.0						2.0								東京大学船舶機械工学研究科博士課程修了工学博士						
								流れの科学Ⅲ	2.0																				
								システム制御 自然災害		2.0																			
								教養ゼミナールⅠ 教養ゼミナールⅡ 防災システム学実験・実習Ⅰ 防災システム学実験・実習Ⅱ 防災システム学ゼミナール 卒業研究			2.0						2.0												
								計	4.0	4.0	10.0	14.0	0.4	0.4	0.5	14.4	18.5												
教授	宮林 正恭 みやばやし まさあき	男	66	2004.4.1	2004.4.1	2004.4.1	防災システム学科	リスク危機管理論	4.0	2.0													東京大学工学部卒業博士(工学)						
								宇宙の利用	2.0																				
								科学の歴史	2.0	2.0																			
								計	8.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	4.0												

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び学 位称号
							科目名	講義		演習		実験・実習 ・実技		計					
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
准教授	くまもり 熊取 厚志	男	49	2005.4.1	2005.4.1	防災システム 学科	微生物学 免疫/微生物学実習 臨床免疫学実習Ⅱ 基礎医学実習 臨床免疫学 臨床免疫学実習Ⅰ 免疫学 病原微生物学 教養ゼミナールⅡ △総合危機管理特論Ⅳ (医療技術) △リスク評価特論Ⅹ (感染症と臨床検査) △総合危機管理演習Ⅲ (医療技術)	2.0 2.0 2.0 2.0 0.5 1.0	2.0 2.0 2.0 0.5	3.0 3.0 1.5 3.0	3.0 3.0 1.5 3.0	1.5 1.5	2.0 3.0 3.0 1.5 2.0 3.0 0.0 0.0 0.0 0.5 1.0 0.5	16.5	1.5	8.5	有	徳島大学医学研 究科博士課程修 了 医学博士	
							計	5.5	4.5	0.5	2.5	10.5	1.5	16.5	8.5				

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										年間平均毎週授業時間数	大学院における研究指導担当資格の有無	最終学歴及び学位称号					
							科目名		講義		演習		実験・実習・実技		計									
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
准教授	なかむら 藤夫	男	54	2008.4.1	2008.4.1	防災システム学科	生体機能代行装置学Ⅱ	4.0								4.0	0.0	無	新潟医療技術専門学校卒業					
							関係法規	1.0													1.0	0.0		
							生体機能代行装置学Ⅲ	2.0															2.0	0.0
							災害と医療	0.3															0.3	0.0
							医用機器安全管理学Ⅰ	2.0															2.0	0.0
							生体機能代行装置学実習Ⅰ		2.0														0.0	3.0
							医用機器安全管理学Ⅱ			2.0													0.0	2.0
							臨床実習Ⅰ				3.0												3.0	0.0
							臨床実習Ⅱ					3.0											0.0	3.0
							臨床実習Ⅲ						3.0										0.0	3.0
臨床実習Ⅳ							3.0							0.0	3.0									
医用機器安全管理学実習								3.0						3.0	0.0									
教養ゼミナールⅠ					0.1									0.1	0.0									
教養ゼミナールⅡ								2.0			2.0			0.0	2.0									
計							9.3	2.0	0.1	2.0	6.0	12.0	15.4	16.0										
准教授	よした 吉田 重臣	男	50	2004.4.1	2004.4.1	防災システム学科	計測工学Ⅰ	2.0								2.0	0.0	無	京都大学理学研究科博士課程修了 博士(理学)					
							リモートセンシング		2.0													0.0	2.0	
							計測工学Ⅱ		2.0														0.0	2.0
							数値計算法		2.0														0.0	2.0
							防災システム学実験・実習Ⅰ													0.5		0.0	0.5	
							防災システム学実験・実習Ⅱ									0.4							0.4	0.0
							防災システム学ゼミナール								8.0	4.0						0.0	4.0	
							卒業研究								8.0	8.0						8.0	8.0	
							計							2.0	6.0	8.0	12.0			0.4	0.5	10.4	18.5	

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び学 位称号						
							科目名	講義		演習		実験・実習 ・実技		計											
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
講師	前河 裕一 （まえがわ ゆういち）	男	39	2005.4.1	2005.4.1	防災システム 学科	医動物学	2.0						2.0	0.0			2.0	0.0	藤田保健衛生大 学医学研究科博 士課程修了 博士（医学）					
							機器分析学	2.0											2.0		0.0				
							医動物学実習				3.0														
							分子/細胞生物学実習							3.0											
							薬品分析学		2.0																
							基礎医学実習				1.5														
							臨床検査総論実習Ⅱ				3.0														
							教養ゼミナールⅡ				2.0														
							防災システム学実験・実習Ⅱ				0.4														
							計				4.0	2.0	0.0	2.0	7.9	4.5	11.9	8.5							
教授	石田 信宏 （いしだ のぶひろ）	男	51	2005.4.1	2005.4.1	環境安全 システム学科	生物学Ⅰ	2.0							2.0	0.0			2.0	0.0	東京大学理学研 究科博士課程修 了 理学博士				
							生命の科学	2.0											2.0	0.0					
							生化学Ⅰ	2.0											2.0	0.0					
							バイオテック/ロジ-	2.0											2.0	0.0					
							環境の生化学		2.0										0.0	2.0					
							生化学Ⅱ		2.0										0.0	2.0					
							生物学Ⅱ		2.0										0.0	2.0					
							教養ゼミナールⅠ				0.7									0.7		0.0			
							教養ゼミナールⅡ				1.2									0.0		1.2			
							環境システム実験				0.4									0.4		0.4			
卒業研究				8.0	8.0								8.0	8.0											
△総合危機管理特論Ⅱ（環境）	0.3	0.3											0.3	0.3											
△リスク評価特論Ⅲ（生命環境）	2.0												2.0	0.0											
△総合危機管理演習Ⅰ（環境）				0.3	0.3								0.3	0.3											
△特別研究Ⅰ				4.0	4.0								4.0	4.0											
△特別研究Ⅱ				6.0	6.0								6.0	6.0											
計				10.3	6.3	19.0	19.5	0.4	0.4	29.7	26.2														

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究指導担当資格の有無	年間平均毎週授業時間数	最終学歴及び学位称号
							科目名	講義		演習		実験・実習・実技		計					
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
教授	上野 宏共	男	70	2005.4.1	2005.4.1	環境安全システム学科	環境地球科学 I	2.0					2.0	0.0	2.0	0.0	13.4	東北大学理学研究科博士課程修了 理学博士	
							資源の科学	2.0					2.0	0.0	2.0	0.0			
							環境地球科学 II		2.0					0.0	2.0				
							地球環境と生命の共進化		2.0					0.0	2.0				
							教養ゼミナールII			2.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4				
							環境システム実験			8.0	8.0		8.0	8.0					
							卒業研究												
							計	4.0	4.0	8.0	10.0	0.4	0.4	0.4	12.4	14.4			
教授	遠藤 将一	男	69	2004.4.1	2004.4.1	環境安全システム学科	物理学入門	2.0					2.0	0.0	2.0	0.0	11.7	大阪大学基礎工学研究科博士課程修了 工学博士	
							材料の科学	2.0					2.0	0.0	2.0	0.0			
							地球内部と宇宙の科学		2.0					0.5	0.0	0.4			0.4
							教養ゼミナール I			0.5				8.0	8.0				
							環境システム実験			8.0	8.0		8.0	8.0					
							卒業研究												
							計	4.0	2.0	8.5	8.0	0.4	0.4	12.9	10.4				
教授	狩野 勉	男	62	2004.4.1	2004.4.1	環境安全システム学科	教養ゼミナール I					0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	8.6	広島大学理学研究科博士課程修了 理学博士	
							物理学 I	2.0					2.0	0.0	2.0	0.0			
							物理学 II		1.0					0.0	1.0				
							物理学実験				2.0			2.0	0.0				
							理科教育法 I	2.0					2.0	0.0	2.0	0.0			
							理科教育法 II		2.0					0.0	2.0				
理科教育法 III	2.0						2.0	0.0	2.0	0.0									
理科教育法 IV		2.0						0.0	2.0	0.0									
総合演習				2.0				0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0						
教育実習 I					2.0			2.0	2.0		2.0	2.0	2.0	0.0					
							計	6.0	5.0	0.1	2.0	4.0	0.0	10.1	7.0				

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	職年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び学 位称号
								講義		演習		実験・実習 ・実技		計						
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教授	たかやま けい子 高山 啓子	女	60	2005.4.1	2005.4.1	2005.4.1	環境安全 システム学科	情報リテラシー	2.0						2.0	0.0	無	ペンシルヴァニア 大学大学院修 士課程修了 M. L. A.		
								生活環境の科学 I	2.0							2.0			0.0	
								消防と防災	0.3						0.3	0.0				
								環境デザイン	2.0						2.0	0.0				
								生活環境の科学 II		2.0					0.0	2.0				
								環境アセスメント		2.0					0.0	2.0				
								教養ゼミナール I			0.7				0.7	0.0				
								教養ゼミナール II				1.2			0.0	1.2				
								環境システム実験 卒業研究			8.0	8.0			0.4	8.0				
								計	6.3	4.0	8.7	9.2	0.4	0.4	15.4	13.6				

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										大学院における研究担当資格の有無	年間平均毎週授業時間数	最終学歴及び学位称号					
							科目名	講義		演習		実験・実習・実技		計										
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
教授	三村 邦裕	男	54	2006.4.1	2006.4.1	環境安全システム学科	ポラテニア活動	1.0	1.0							1.0	1.0	放送大学大学院文化科学研究科教育開発プログラム修士(医学)一杏林大学医学部医学研究科	無	21.9				
							関係法規	2.0														2.0	0.0	
							臨床血液学実習Ⅱ			3.0												3.0	0.0	
							臨床血液学Ⅰ	2.0														2.0	0.0	
							医学概論	2.0														2.0	0.0	
							災害と医療	0.3														0.3	0.0	
							健康と環境	0.4														0.4	0.0	
							臨床検査総論Ⅱ																2.0	2.0
							生化学Ⅰ																0.0	2.0
							臨床血液学Ⅱ	2.0															2.0	2.0
							臨床血液学実習Ⅰ	2.0															0.0	2.0
							教養ゼミナールⅠ							0.4									0.4	0.0
							教養ゼミナールⅡ							8.0	2.0								8.0	8.0
							卒業研究								8.0								3.0	3.0
△総合危機管理特論Ⅰ(基盤)	0.3	0.3											0.3	0.3										
△総合危機管理特論Ⅳ(医療技術)	0.5	0.5											0.5	0.5										
△リスク評価特論Ⅸ(健康管理と臨床検査)		2.0											0.0	2.0										
△総合危機管理演習Ⅲ(医療技術)							0.5	0.5					0.5	0.5										
計							8.5	9.8	8.9	10.5	3.0	3.0	20.4	23.3										

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	現職就任年月日	所属学科	授業科目										年間平均 毎週授業 時間数	大学院に おける研 究指導担 当資格の 有無	最終学歴及び学 位称号					
							講義		演習		実験・実習 ・実技		計											
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
准教授	安藤 生大	男	41	2004.4.1	2004.4.1	環境安全 システム学科	廃棄物の処理	2.0						2.0						早稲田大学理工 学研究所博士課 程修士(工学)				
							環境保全論	2.0																
							地学 I	2.0																
							健康と環境 地学実験	0.4																
							リサイクルシステム 教養ゼミナール I	2.0																
教養ゼミナール II		1.2																						
環境システム実験		8.0																						
卒業研究																								
計							6.4	2.0	8.5	9.2	0.4	2.4	15.3	13.6										
准教授	福留 伸幸	男	56	2005.4.1	2005.4.1	環境安全 システム学科	生理学 I	2.0												倉敷芸術科学大 学産業科学技術 研究所修士課程 了 修士(工学)				
							生理学 II	2.0																
							病理学 II	2.0																
							病理学実習																	
							教養ゼミナール I		0.1															
教養ゼミナール II		8.0																						
卒業研究																								
計							2.0	8.1	10.0	0.0	3.0	10.1	19.0											

2 専任教員個別表

危機管理学部

(表20)

職名	ふりがな氏名	(性別)	(年齢)	就年月日	職年月日	現職就任年月日	所属学科	科目名	授業科目						年間平均毎週授業時間数	大学院における研究指導担当資格の有無	最終学歴及び学位称号		
									講義		演習		実験・実習・実技					計	
									前期	後期	前期	後期	前期	後期				前期	後期
講師	こはま 小濱 剛	男	37	2005.4.1	2005.4.1	2005.4.1	環境安全システム学科	海洋の科学	2.0					2.0	0.0	愛媛大学連合農学研究所博士課程修了 博士(農学)			
								海洋資源概論	1.0					2.0	0.0				
助教	こま 横田 久里子	女	34	2004.4.1	2004.4.1	2007.4.1	環境安全システム学科	水産動物学・水生哺乳動物学	2.0					2.0	2.0	神戸大学総合人間科学研究科博士課程修了 博士(学術)			
								教養ゼミナールⅠ	2.0					2.0	0.0				
								教養ゼミナールⅡ	0.7	1.2	0.4	0.4	0.0	1.2					
								環境システム実験	8.0	8.0			8.0	8.0					
								卒業研究											
								計	2.0	5.0	8.7	9.2	0.4	4.4	11.1	18.6			
								情報リテラシー	2.0					2.0	0.0				
								環境の化学	2.0					2.0	0.0				
								環境分析の化学	0.3					0.3	0.3				
								△総合危機管理特論Ⅱ(環境)	0.3					0.3	0.3				
								△総合危機管理演習Ⅰ(環境)			0.3	0.3		0.3	0.3				
								計	4.3	2.3	0.3	0.3	0.0	0.0	4.6	2.6			

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)に記載の専任教員については、所属組織ごとに作成してください。ただし、大学附属研究所、学部附属研究所、附属病院等の教員については、授業を担当している教員についてのみ記載してください。

2 「科目名」欄に記載する担当科目のうち、大学院研究科の授業科目には△印を付けてください。

3 「授業科目」欄については、セメスター制の場合を例示していますが、通年制の場合、3学期制の場合等は、適宜、欄を修正して記入してください。

4 「毎週授業時間数」は、時間割編成上のいわゆるコマではなく、時間数に換算して記入してください(例えば1コマ90分の場合は、2時間)。

5 1 授業科目を複数教の教員で担当する場合は、当該授業時数を担当者数で除して毎週授業時間数を算出してください。

6 「年間平均毎週授業時間数」欄には、各専任教員ごとの前期と後期の担当授業時間の合計を2で割った年間平均の時間数を記入してください。

7 「大学院における研究指導担当資格の有無」欄には、大学が定める基準に基づいて資格の有無を記入してください。

3 専任教員年齢構成

(表21)

学部・研究科	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
教授	1	2	4	7	7	4	0	0	0	0	25
	4.0%	8.0%	16.0%	28.0%	28.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
准教授	0	0	0	0	2	3	5	1	0	0	11
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	27.3%	45.5%	9.1%	0.0%	0.0%	100%
専任講師	0	0	0	0	2	1	1	4	1	0	9
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%	100%
助教	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	6
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	100%
学部計	1	2	4	7	11	8	6	5	6	1	51
	2.0%	3.9%	7.8%	13.7%	21.6%	15.7%	11.8%	9.8%	11.8%	2.0%	100%
大学合計	1	9	11	16	15	15	10	12	9	2	100
	1.0%	9.0%	11.0%	16.0%	15.0%	15.0%	10.0%	12.0%	9.0%	2.0%	100%
定年 65 歳 改訂移行措置により 一部教授は 71 歳											

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)のうち、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成して
 ください。

ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学部から除き、教養教育担当者の
 表を学部準じて別個に作成してください。

2 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。

3 専任教員年齢構成

(表21)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
危機管理学部	教授	0	7	6	8	3	2	0	0	0	0	26	
		0.0%	26.9%	23.1%	30.8%	11.5%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	准教授	0	0	1	1	1	5	2	2	1	0	0	11
		0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	9.1%	45.5%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	2	5	2	0	9
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	100%
	学部計	0	7	7	9	4	7	7	4	7	3	1	49
		0.0%	14.3%	14.3%	18.4%	18.4%	8.2%	14.3%	8.2%	14.3%	6.1%	2.0%	100%
大学合計	1	9	11	16	15	15	15	10	12	9	2	100	
	1.0%	9.0%	11.0%	16.0%	15.0%	15.0%	15.0%	10.0%	12.0%	9.0%	2.0%	100%	
定年 改訂移行措置により 一部教授は71歳		65歳											

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19)のうち、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成して
ください。

ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学部から除き、教養教育担当者の
数を学部準じて別個に作成してください。

2 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。

4 専任教員の担当授業時間

薬学部（51人）

(表22)

区分	教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	38.1 授業時間	18.1 授業時間	20.0 授業時間	7.1 授業時間	1 授業時間 45分	
最低	6.0 授業時間	6.5 授業時間	8.0 授業時間	4.0 授業時間		
平均	19.7 授業時間	11.6 授業時間	11.1 授業時間	5.8 授業時間		
責任授業時間数	—	—	—	—		

- [注] 1 「IV 1 全学の教員組織」(表19) 中、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。
 なお、表19では、授業を担当していない教員を含めた作表をお願いしますが、本表においては、担当授業時間数が「0」となる専任教員(例：サバティカル等による)は、本表には含めないでください。その際、表19の人数と本表の人数計が合わない理由を(※1)に付記してください。
 (記入例：※1「サバティカル取得中の教授1人を除く」)
- 2 「IV 2 専任教員個別表」(表20)で算出した年間平均毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
- 3 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
- 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「—」を記入してください。
- 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合において、何らかの事由がある時は、そのことを欄外に付記してください。
- 6 開設されているものの、履修者のいない科目についても上表に含めること。

4 専任教員の担当授業時間

危機管理学部（49人）

(表22)

区分	教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高		29.9授業時間	24.2授業時間	30.8授業時間	7.0授業時間	
最低		2.0授業時間※1	12.5授業時間	9.0授業時間	1.1授業時間※2	1 授業時間 4 5 分
平均		16.0授業時間	17.0授業時間	14.9授業時間	3.9授業時間	
責任授業時間数		—	—	—	—	

※1 「特別に任用する専任の教育職員」特任教員に関する規程による採用のため。

※2 新設学科教員として採用しているため、年次進行により担当科目が増加する。

[注] 1 「IV 1 全学の教員組織」（表19）中、学部、大学院研究科（及びその他の組織）に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。
 なお、表19では、授業を担当していない教員を含めた作表をお願いしますが、本表においては、担当授業時間数が「0」となる専任教員（例：サブバイカル等による）は、本表には含めないでください。その際、表19の人数と本表の人数計が合わない理由を（※1）に付記してください。
 （記入例：※1「サブバイカル取得中の教授1人を除く」）

- 2 「IV 2 専任教員個別表」（表20）で算出した年間平均毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
- 3 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
- 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「—」を記入してください。
- 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合において、何らかの事由がある時は、そのことを欄外に付記してください。
- 6 開設されているものの、履修者のいない科目についても上表に含めること。

5 専任教員の給与

(表23)

学部・研究科	専任教員俸給額(年収) (円)	専任教員俸給額(年収) (円)			
		教授	准教授	講師	助教
薬学部	最低	9,987,404	8,198,297	7,349,546	6,518,660
	平均	11,373,849	9,193,797	8,256,013	6,866,500
危機管理学部	最低	10,046,735	8,145,255	7,423,785	6,646,482
	平均	11,750,633	9,581,402	8,012,473	7,118,509

- [注] 1 本「大学基礎データ」作成前年(2008年)1月から12月の1年間を対象として作成してください。
 2 年収は、諸手当を含めた前年の支給総額を記入してください。
 3 原則として「IV 1 全学の教員組織」(表19)に掲げた組織の順に作成してください。
 4 「最低」「平均」の記入にあたっては、上記1の期間途中での採用及び退職者は除いてください。

3 専任教員の研究費

(表29)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室等の共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備考
薬学部	57,182,849	57,182,849	53	1,078,922	1,078,922	
危機管理学部	44,580,424	44,580,424	50	891,608	891,608	
計	101,763,273	101,763,273	103	987,993	987,993	

- [注] 1 2008年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2008年度の人数（助手を除く）を記入してください。
- 2 研究費総額（A）には、学科、研究科、研究室ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。
- 3 研究費総額（B）には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどの謝金等）を記入してください。
- 4 本表における専任教員数は、（表34）と一致します。

4 専任教員の研究旅費

(表30)

学部・研究科等	国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備考
	長期	短期	長期	短期	国外	国内	
薬学部	総額	1,112,660	—	—	2,826,240	5,400,038	各学部 教授169千円 准教授・講師141千円 助教・助手131千円 但し、申請により個人研究費から研究旅費に、研究費から個人研究費にもとの額から50%を超えない範囲で組み替えができる。また国外旅費については旅行先別に定額で補助が有ります。
	支給件数	1	—	—	16	140	
危機管理学部	総額	—	—	—	882,720	5,554,272	
	支給件数	—	—	—	5	222	
計	総額	1,112,660	—	—	3,708,960	10,954,310	
	支給件数	1	—	—	21	362	

[注] 1 2008年度の実績をもとに作表してください。

2 教員研究旅費には、前表「3 専任教員の研究費（実績）」（表29）は含まないでください。

3 それぞれの研究旅費の支給条件（例えば、支給資格、支給額の上限等）を備考欄に注記してください。

4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

5 学内共同研究費

(表31)

大学・学部・大学院研究科等	総額	利用件数	備考
薬学部	15,399,727	23	
危機管理学部	12,851,336	17	
計	28,251,063	40	

- [注]
- 1 2008年度の実績を記入してください。
 - 2 ここである「学内共同研究費」とは、予算上措置されている研究費で、個人研究・共同研究を問わず、申請に基づき審査を経て交付される競争的な研究費（いわゆる学内科研費）を指します。
 - 3 研究費に旅費が含まれている場合、これを除く必要はありません。
 - 4 総額の合計は、教員研究費内訳（表32）中の学内共同研究費の合計と一致します。

6 教員研究費内訳

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2006年度		2007年度		2008年度	
		研究費 (円)	研究費総額に 対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に 対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に 対する割合 (%)
薬学部	研究費総額	92,612,620	100.0%	102,628,297	100.0%	110,745,012	100.0%
	学内						
	学内 経常研究費 (教員当り積算校費総額)	55,253,510	59.7%	61,898,407	60.3%	65,409,127	59.1%
	学内共同研究費	16,508,813	17.8%	19,393,490	18.9%	15,399,727	13.9%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外						
	科学研究費補助金	15,300,297	16.5%	15,400,000	15.0%	24,110,000	21.8%
	政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	民間の研究助成財団 等からの研究助成金	1,000,000	1.1%	0	0.0%	2,920,000	2.6%
	奨学寄附金	2,000,000	2.2%	1,600,000	1.6%	100,000	0.1%
受託研究費	2,550,000	2.8%	4,336,400	4.2%	2,806,158	2.5%	
共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表29)の(A)+(表30)の計、経常研究費、(表31)でいう学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

6 教員研究費内訳

(表32)

学部・研究科等	研究費の内訳	2006年度		2007年度		2008年度	
		研究費 (円)	研究費総額に 対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に 対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に 対する割合 (%)
危機管理学部	研究費総額	87,058,901	100%	86,969,262	100%	76,039,752	100.0%
	学内	45,055,588	51.8%	49,135,966	56.5%	51,017,416	67.1%
	学内共同研究費	13,157,313	15.1%	14,623,296	16.8%	12,851,336	16.9%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	16,740,000	19.2%	16,800,000	19.3%	4,400,000	5.8%
	科学研究費補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	奨学寄附金	6,606,000	7.6%	2,860,000	3.3%	0	0.0%
	受託研究費	5,500,000	6.3%	3,550,000	4.1%	7,771,000	10.2%
共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表29)の(A)+(表30)の計、経常研究費、(表31)でいう学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

7 科学研究費の採択状況

(表33)

学部・研究科等	科学研究費											
	2005年度			2006年度			2007年度			2008年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(% B/A*100)									
薬学部	20	1	5.0%	21	5	23.8%	30	3	10.0%	31	6	19.4%
危機管理学部	24	2	8.3%	17	3	17.6%	22	2	9.1%	19	0	0.0%
計	44	3	6.8%	38	8	21.1%	52	5	9.6%	50	6	12.0%

[注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。

2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

8 学外からの研究費

(表34)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合 計 (A+B)
		科学研究費補 助金総額 (A)	うちオーバーヘッドの額	その他の学外研究費総額 (B)	うちオーバーヘッドの額	
薬学部	53	24,110,000	5,913,000	5,826,158	516,805	29,936,158
危機管理学部	50	4,400,000	930,000	7,771,000	1,160,000	12,171,000
合 計	103	28,510,000	6,843,000	13,597,158	1,676,805	42,107,158

[注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。

2 2008年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2008年度の人数を記入してください。

3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。

4 本表における専任教員数は、2008年度の教員数であり、(表29)及び(表30)と一致します。

9 教員研究室

(表35)

学部 研究科	室数		総面積 (㎡)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (B)	個室率 (%) (A/B*100)	教員1人当たりの平均面積 (㎡)	備考
	個室(A)	共同		個室	共同				
薬学部	44	1	974.8	22.2	24.0	51	86.3	21.7	共同教員室は2名で使用 7名は実験室を使用 1名は管理室を使用 3室は空き
危機管理学部	46	1	1147.6	24.4	24.0	49	93.9	24.4	1名は作業室を使用 共同教員室は2名で使用 特任教員1名は部屋なし 1室は空き
計	90	2	2122.4			100	90.0	23.1	

[注] 1 「室数」 「総面積」 欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室について記入してください。

2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出してください。

3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入してください。

4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

VI 施設・設備等

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表36)

校地		校舎		講義室・演習室等	
校地面積 (m ²)	設置基準上必要校地面積 (m ²)	校舎面積 (m ²)	設置基準上必要校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・学生自習室総数	講義室・演習室・学生自習室総面積 (m ²)
122,300m ²	23,000m ²	30,381.1m ²	2,3222.5m ²	79	4,707.5m ²

※ 環境アセスメントの関係上、先に本部キャンパスを建設し、2年目に500m離れた隣接地にマリーナーキャンパスを建設したが、学生は本部キャンパスとマリーナーキャンパス間を自由に行き来している。

[注] 1 校舎面積に算入できない施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、便所などが挙げられます。

2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても結構です。

3 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

2 主要施設の概況

(表36-2)

施設名	用途	建築年	延床面積(m ²)	備考
管理教養棟	講義室、研究室、事務室等	平成16年	6589.46㎡	
守衛室	守衛警備室	平成16年	12.00㎡	
講義棟	講義室	平成17年	2545.34㎡	
薬学部棟	研究室、実験室、学部事務室等	平成17年	7246.12㎡	
薬学部実験棟	実験室	平成17年	560.00㎡	
危機管理学部棟	研究室、実験室、学部事務室等	平成17年	7694.78㎡	
危機管理学部機械室	機械室	平成17年	11.76㎡	
厚生棟	食堂、健康管理センター	平成17年	1156.35㎡	
喫茶棟	喫茶室	平成17年	490.36㎡	
守衛室	守衛警備室	平成17年	31.50㎡	
管理人室	管理人室	平成17年	52.03㎡	
図書館棟	図書館事務室	平成17年	1258.62㎡	
体育館棟	体育館	平成17年	2390.27㎡	
クラブハウス	部室	平成17年	451.56㎡	
薬学部危険物倉庫	倉庫	平成17年	17.80㎡	
厚生棟倉庫	倉庫	平成17年	22.98㎡	
体育倉庫	倉庫	平成17年	20.00㎡	

施設名	用途	建築年	延床面積 (m ²)	備考
車庫	車庫	平成16年	58.50m ²	
バス車庫	車庫	平成17年	62.76m ²	
ゲストハウス	来学した国際交流による外国人、 教職員の研究を行う	平成20年	89.69m ²	
5号館	講義室、研究室、実験室	平成21年	2119.20m ²	※平成21年6月完成

[注] 1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。

2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。

3 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

(表37)

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m ²) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数 (B)	利用学生1人当 たり面積(m ²) (A/B)	備考
全学共通	講義室	25	3,253.3	共用	3,275	1,562	2.08	学部生使用
	学習室	2	273.9	共用	70	1,562	0.18	
	体育館	1	2,390.3	共用				
薬学部、 薬科学研究科	演習室	4	193.2	専用	108	296	0.65	3年、4年、大学院生使用
	学生自習室	2	48.0	専用	48	137	0.35	4年、大学院生使用
危機管理学部、 危機管理学研究科	演習室	43	1,087.9	専用	520	377	2.89	3年、4年、大学院生使用(学生自習室としても使用)
	学生自習室	0	0		0	0	0	
薬科学研究科	演習室	2	48.0	専用	24	32		
	演習室	2	48.0	専用	24	16		
危機管理学研究科	体育館	1	2,390.3	専用				
	講堂	0	0	0				

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。

2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。

3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。

4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。

5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に応じて記載してください。

6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。

7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数(短期大学の学生数を含む)で総面積を算出して算出してください。

4 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

薬学部、薬科学研究科

(表38)

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当たりの面積 (㎡)	使用学部・研究科等	備考
実験室	1	229.1	120	1.9	全学共用	
実習室	2	282.0	80	3.5		
実験室	43	1751.3	876	2.0	薬学部、薬科学研究科	
実習室	8	1553.1	800	1.9		
情報処理室	1	144.0	80	1.8		
実験室	19	1319.3	286	4.6	危機管理学部、危機管理学 研究科	
実習室	5	390.4	133	2.9		
情報処理室	1	144.0	52	2.8		
計	80	5813.2	2,427	2.4		

[注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。

2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。

3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。

4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。

5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。

6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「3 学部・研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模」(表37)の講義室・演習室に含めても結構です。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。

7 実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記載してください。

4 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表40)

学部名	収容人員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備考
薬学部(前期)	1 ~ 70	3	145	17	11.7	
	71 ~ 100	8		26	17.9	
	101 ~ 200	9		74	51.0	
	201 ~ 300	3		28	19.3	
計		23	145	145	100.0	
薬学部(後期)	1 ~ 70	3	128	8	6.3	
	71 ~ 100	8		21	16.4	
	101 ~ 200	9		62	48.4	
	201 ~ 300	3		37	28.9	
計		23	128	128	100.0	
危機管理学部(前期)	1 ~ 70	3	222	28	12.6	
	71 ~ 100	8		95	42.8	
	101 ~ 200	9		79	35.6	
	201 ~ 300	3		20	9.0	
計		23	222	222	100.0	

学部名	収容人員	使用教室数	開設総授業数(A)	使用度数(B)	使用率 B/A (%)	備考
危機管理学部(後期)	1 ~ 70	3	204	23	11.3	
	71 ~ 100	8		95	46.6	
	101 ~ 200	9		74	36.3	
	201 ~ 300	3		12	5.9	
		23		204	100.0	
計						

研究科名	収容人員	使用教室数	開設総授業数(A)	使用度数(B)	使用率 B/A (%)	備考
薬学研究科	1 ~ 70	1	44	9	20.5	5名以下の少人数授業は研究室を使用
				35	79.5	
				44	100.0	
計		1	44			
危機管理学研究科	1 ~ 70	33	27	27	100.0	
				33	27	100.0
計						

[注] 1 原則として学部・研究科ごとに作成してください。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、開設総授業数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業数を示します。なお、使用率は、(使用度数/開設総授業数)により算出してください。例えば、「英語 I」を、それぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。

3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

VII 図書・電子媒体

1 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

(表41)

図書館の名称	図書の冊数(冊)		定期刊行物の種類(種類)		視聴覚資料の所蔵数(点数)	電子ジャーナルの種類(種類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備考
	図書の冊数	開架図書の冊数(内数)	内国書	外国書			2006年度	2007年度	2008年度	
千葉科学大学図書館	31,835	31,835	327	121	240	278	3,598	4,154	3,592	
計	31,835	31,835	327	121	240	278	3,598	4,154	3,592	

[注] 1 雑誌等ですすでに製本済みなのは図書の冊数に加えても結構です。

2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフロッピー、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。

3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。

4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

2 図書館利用状況

(表42)

図書館の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	年間 開館日数	開館時間	年間利用者数(延べ数)			年間貸出冊数			備考
					2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	
千葉科学大学図書館	6 (3)	0 (0)	311	月～金 8:20 ～21:00	138,035人	158,827人	158,802人	15,940冊	20,873冊	19,582冊	日曜日は開館、 祝日は原則閉 館。長期休暇中 の開館時間は委 動あり。年間貸 出冊数の内訳は 上から教員・職 員・学生。
				土 9:00 ～17:00	()	()	()	()	()	()	
				日祝日 12:00 ～17:00	()	()	()	()	()	()	
				長期休業中 9:00 ～21:00 9:00 ～17:00 ※国家試験前の約6週間は9:00～ 21:00まで開館している。	()	()	()	()	()	()	

- [注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを () 内に内数で記入してください。
 2 年間利用者数・貸出冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含まれないで、学生及び教職員の利用状況を記入してください。
 3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。
 4 「年間利用者数(延べ数)」および「年間貸出冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、() 内に記入してください。

3 学生閲覧室等

(表43)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する座 席数の割合(%) $A/B * 100$	その他の学習室の座 席数 ()	備 考
千葉科学大学図書館	210	1,830	11.5	(グループ学習室) 16	学部学生収容定員1800、大学院生 収容定員30
計	210	1,830	11.5	(グループ学習室) 16	

[注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えてください。

2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入一般開放による地域住民等を含めないでください。

3 「備考」欄には学生収容定員(B)の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。

VIII 学生生活

1 奨学金給付・貸与状況

(表44)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数 (A)	在籍学生総数 (B)	在籍学生数に対する比率 A/B*100	支給総額 (C)	1件当たり支給額 C/A
日本学生支援機構(学部)	学外	貸与	600	1,765	34.0	606,336,000	1,010,560
電通育英会(学部)	学外	貸与	8	1,765	0.5	3,840,000	480,000
新潟県奨学金(学部)	学外	貸与	2	1,765	0.1	1,224,000	612,000
常陸大宮市奨学金(学部)	学外	貸与	1	1,765	0.1	600,000	600,000
茨城県奨学生(学部)	学外	貸与	3	1,765	0.2	1,368,000	456,000
交通遺児育英会(学部)	学外	貸与	1	1,765	0.1	720,000	720,000
鹿嶋市奨学生(学部)	学外	貸与	2	1,765	0.1	720,000	360,000
河内奨学生(学部)	学外	給付	2	1,765	0.1	960,000	480,000
朝鮮奨学生(学部)	学外	給付	1	1,765	0.1	300,000	300,000
国際ロータリー(学部)	学外	給付	1	1,765	0.1	1,200,000	1,200,000
旭市育英生(学部)	学外	給付	3	1,765	0.2	518,400	172,800
日本学生支援機構(大学院)	学外	貸与	7	23	30.4	8,868,000	1,266,857

[注] 1 2008年度実績をもとに作表してください。

2 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象の順に作成してください。

3 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載してください。

4 日本学生支援機構による奨学金も記載してください。

2 学生相談室利用状況

(表45)

施設の名称	専任 スタッフ数	非常勤 スタッフ数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数			備 考
						2006年度	2007年度	2008年度	
健康管理センター	—	1	2	73	10:00～16:00	109	145	163	心理カウンセラー 2005年度は週1回、 2006年度以降は週2回
健康管理センター	—	1	月1回	9	12:00～13:00	15	16	8	内科医による健康相談
健康管理センター	—	1	月1回	9	12:30～14:30	—	—	12	心療内科医による相談 (2008～)

[注] 1 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員、職員等）を備考欄または欄外に記載してください。

2 年間相談件数は、延べ数を記載してください。

IX 財 務

1-1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの） ※私立大学のみ

(表46)

	比 率	算 式（＊100）	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
			%	%	%	%	%	
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	42.7	47.7	58.9	60.6	62.6	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	66.6	68.6	72.5	73.4	77.8	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	23.9	27.1	30.6	30.6	31.5	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	6.1	7.6	8.9	8.6	9.6	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	1.0	0.9	1.1	1.2	1.2	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	26.3	16.5	-0.3	-1.1	-5.6	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	73.7	83.5	100.3	101.1	105.6	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	115.9	107.4	105.3	101.7	106.5	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	64.1	69.6	81.2	82.5	80.5	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	5.3	0.8	0.7	0.8	1.0	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	27.2	26.3	13.6	11.5	12.7	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	36.4	22.3	4.8	0.6	0.9	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	13.5	14.8	13.5	13.5	12.7	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（法人全体のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。
 なお、法人として当該大学のみを運営している場合は、本表のみを表作してください。ただし、医・歯学部等で附属病院を併設している場合は、次表（表46-2）も作成してください。

1-2 消費収支計算書関係比率（大学単独のもの） ※私立大学のみ

(表46-2)

	比率	算式（*100）	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備考
			%	%	%	%	%	
1	人件費比率	人件費 帰属収入	17.5	24.2	67.9	54.3	53.9	
2	人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	89.2	71.5	70.3	56.1	62.2	
3	教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入	6.5	15.2	46.0	37.9	37.0	
4	管理経費比率	管理経費 帰属収入	4.5	7.3	19.6	13.0	13.4	
5	借入金等利息比率	借入金等利息 帰属収入	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
6	帰属収支差額比率	帰属収入-消費支出 帰属収入	71.4	53.3	△ 33.6	△ 5.2	△ 4.5	
7	消費支出比率	消費支出 帰属収入	28.6	46.7	133.6	105.2	104.5	
8	消費収支比率	消費支出 消費収入	△ 469.8	134.7	134.2	105.3	105.2	
9	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 帰属収入	19.7	33.8	96.7	96.8	86.7	
10	寄付金比率	寄付金 帰属収入	0.7	0.9	0.7	0.4	0.3	
11	補助金比率	補助金 帰属収入	77.3	64.0	0.3	0.2	10.1	
12	基本金組入率	基本金組入額 帰属収入	106.1	65.4	0.4	0.1	0.6	
13	減価償却費比率	減価償却費 消費支出	6.6	18.8	20.5	19.9	19.6	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（大学単独のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 貸借対照表関係比率 (私立大学のみ)

(表47)

	比率	算式 (*100)	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	71.6	78.2	77.6	76.0	74.9	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	28.4	21.8	22.4	24.0	25.1	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債}}$	15.2	15.1	14.9	14.6	14.2	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債}}$	8.7	4.8	4.5	4.2	4.5	
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	76.2	80.1	80.6	81.2	81.3	
6	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	-4.0	-4.8	-5.9	-6.4	-7.9	
7	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	94.0	97.6	96.3	93.6	92.2	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	78.4	82.1	81.3	79.4	78.5	
9	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	328.0	456.3	500.8	568.0	553.7	
10	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	23.8	19.9	19.4	18.8	18.7	
11	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	31.3	24.8	24.1	23.2	23.1	
12	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	654.8	624.4	721.2	840.0	837.6	
13	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	30.1	29.4	29.4	29.1	28.9	
14	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	82.5	85.5	86.0	86.5	87.0	
15	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額(図書を除く)}}$	34.2	30.9	33.0	36.2	39.2	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 「総資金」は負債+基本金+消費収支差額を、「自己資金」は基本金+消費収支差額をあらわします。

公開の対象者	公開している財務諸表及びその解説	公開の方法					ホームぺージ (Web等)	その他 ()	開示請求があれば対応する
		自己点検・評価報告書	学内広報誌・紙	大学機関誌・紙	財務状況に関する報告書	学内LAN			
社会・一般 (不特定多数)	資金収支計算書						○		
	消費収支計算書						○		
	貸借対照表						○		
	財務状況に関する解説								
	その他 (監事監査報告書)						○		
	その他 (財産目録)								
	その他 (事業報告書等)						○		
	資金収支計算書								
	消費収支計算書								
	貸借対照表								
その他 ()	財務状況に関する解説								
	その他 ()								
	その他 ()								
	その他 ()								

- [注] 1 2008年度決算について2009年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。
- 2 「公開している財務諸表及びその解説」欄のうち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。
- 3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。
- 4 「公開の対象者」および「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、監事監査報告書、財産目録、事業報告書等の具体名を記入してください。
- 5 2009年度決算の公開にあたり変更が予定されている場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。

「2 財政公開状況（公立大学法人のみ）（表48-2）」
該当なし